

## 平成 25 年度 公益社団法人 日本リハビリテーション医学会 代議員総会 議事録

日 時：平成 25 年 6 月 12 日(水)

14 時 30 分～16 時 30 分

場 所：東京国際フォーラム B7-1

### 議長の選任

定款第 17 条に基づき、出席正会員の中から菊地尚久会員が議長に選任され、副議長には加賀谷斉会員が選任された。

### 出席人数の確認

議長から、代議員総数 294 名、出席代議員数 168 名、委任状提出者数 74 名、合計 242 名で、定款第 19 条第 2 項に定める総代議員の議決権に必要な要件を満たし、代議員総会が成立する旨宣言された。

### 議事録署名人の選出

定款第 21 条第 2 項に基づき、議事録への記名押印を議長及び出席理事の中から浅見豊子理事、安保雅博理事を選出した。

### 議 題

#### 報告事項

#### I. 理事長報告

水間理事長から、平成 24 年度における主な活動を総括して報告が行われた。

#### II. 平成 24 年度各種委員会報告

水間理事長から、平成 24 年度の各種委員会及びリハビリテーション科専門医会の活動状況について、報告が行われた。

#### III 編集委員会報告

担当理事：川平和美

委員長：橋本圭司

委 員：伊佐地隆、菅本一臣、鈴木康司、道免和久、中村純人、馬場 尊、原 寛美、馬庭壯吉、渡邊 修  
年度内交替委員：原 行弘、青柳陽一郎、荏原実千代

#### 1. 委員会の開催

本年度年 6 回の委員会を開催した。(うち 1 回は論文賞選考委員会を兼ねる)

#### 2. 活動内容

##### 1) 学会誌刊行の状況

平成 24 年 1 月から 12 月の間に The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 第 49 巻 1 号から 12 号の計 12 冊が発行された。また、第 49 回日本リハビリテーション医学会学術集会抄録集を学術集会事務局と共同で、学会誌特別号として発行した。

##### 2) 論文投稿・審査・掲載の状況

(1) 平成 24 年 1 月から 12 月の間の依頼原稿 14 編を除く投稿原稿は 32 編で、このうち 11 編を採用、12 編を修正後再審査、7 編を不採用とし、2 編の取り下げがあった。

(2) 第 49 巻の掲載論文は、原著 6 編、短報 1 編、症例報告 2 編、総説 9 編の計 18 編であった。

(3) 平成 25 年 1 月より 2 月 28 日現在で、6 編の論文が投稿された。

##### 3) 投稿規定改定について

学会誌への投稿数減少に対する対策として、以下の内容で投稿規定の改定を行った。

(1) 学会誌への投稿者は、会員・非会員を問わない。

(2) 掲載料は、非学会員が筆頭筆者の場合、12,000 円とする。

(3) 投稿規定の改定は、2013 年 1 月からとする。

(改定版の投稿規定は 2013 年 1 月に学会 HP 及び JJRM 50 巻 1 号に掲載された)

4) 学術集会特別企画講演者への原稿依頼文について  
教育講演及びシンポジウムに関しては、査読者 1 名による審査と、Abstract、Key word を入れ、原著、総説に準じた体裁で依頼し、査読なしの通常のまとめも選択可能とした。

##### 5) 委員長交替および新委員就任

原行弘委員長補佐、青柳陽一郎委員の任期満了、荏原実千代委員の体調不良による辞任に伴い、新委員として、菅本一臣委員、道免和久委員、中村純人委員が加わるようになった。

##### 6) 論文賞選考

論文賞選考内規に基づき、平成 25 年 2 月 25 日の論

文賞選考委員会における審議により、最優秀論文賞、優秀論文賞、奨励論文賞の各賞を選定し、役員会に報告した。

## ② 評価・用語委員会報告

担当理事：志波直人

委員長：太田喜久夫

委員：大沢愛子，水尻強志，泉 従道，殷 祥洙，高倉 和，関 聰介，高橋真紀

年度内交替委員：石合純夫

### 1. 委員会の開催

改訂第8版リハビリテーション用語集の編纂にむけてWeb版リハビリテーション医学用語事典の運用と用語の検討を継続し、あわせて評価法データベースの運用を開始するため、平成23年度に引き続き8名の委員で対応した。委員会は5回開催したが、そのうち3回は学術総会、専門医会、専門医試験日に実施し、委員の交通費節減に努めた。その他、電子メールによる意見・情報交換を行った。

### 2. 活動内容

#### 1) Web版リハビリテーション医学用語事典の運用

リハビリテーション医学用語集第7版をもとに、平成22年度よりWeb版リハビリテーション医学用語事典（略称、Web版リハ用語事典）が運用されており、申し合わせ事項や執筆要綱に沿って用語解説の登録認証作業を継続した。毎月のアクセス数と用語解説登録数をもとに利用状況を確認した。東日本大震災による平成24年度までの時限措置として、用語解説1語につき5単位、年間最大40単位までに拡大して単位認定を実施した。今年度用語での単位登録者数は4名で、延べ30単位であった。来年度以降は認定単位上限を20単位にもどす。

改訂第8版にむけて、Web版リハ用語事典の用語の検討を継続した。重複する用語、かな表記、英語表記の問題点について委員で分担して調査し、問題箇所を訂正した。また、追加用語についても委員会で検討作業を開始した。

Web版リハ用語事典の用語解説についての広報を行い、現在、762語の用語解説が登録されている。50周年企画として、患者家族向けの用語解説を一般市民に公開できるように検討を開始した。

#### 2) リハビリテーション医学用語集第7版の管理と活用 リハビリテーション医学用語集第7版の販売状況と

出版契約内容を文光堂に確認した。改訂第8版にむけての修正作業はWeb版リハ用語事典の改修作業で対応することとした。

#### 3) 他学会からのリハビリテーション医学用語への問い合わせについて

電子カルテで用いられる標準病名を担当するMEDISからは用語についての相談はなかったが、日本整形外科学会から1件問い合わせがあり対応した。また、日本理学療法士協会から依頼があり、第7版リハ用語集を1冊提供した。

#### 4) 評価法データベース

リハ医学・医療における評価法の動向を知るため、関連和・洋総合誌（7雑誌）の投稿論文で用いられた各種評価法を抽出しデータベース化してきた。平成24年度は評価法データベースを学会HP上から閲覧・検索できるようにした。平成24年度はアップデート作業として平成23年1月～12月に刊行された7雑誌を対象に委員で分担して調査を実施した。

#### 5) 日本医学会用語委員会分科会としての活動

日本医学会用語委員会に股副委員長が参加した。第7版から作成したFEP用の辞書を日本医学会用語委員会に提供した。また、日本医学会医学用語集Web版の利用について引き続きHPで広報した。

#### 6) その他

リハニュース、日本リハ医学会HP、日本リハビリテーション医学会専門医学術集会、学会誌で委員会活動について広報を行った。

また、リハビリテーション医学白書のうち、リハビリテーション医学における評価法の現状については目谷前委員、佐浦前担当理事の両名に執筆を依頼し、リハビリテーション医学関連用語の現状については根本前委員長、朝貝前々委員長の両名に執筆を依頼した。

## ③ 教育委員会報告

担当理事：石合純夫（育成担当）

正門由久（生涯教育担当）

委員長：羽田康司

（病態別研修会小委員長：小林一成）

委員：池田 聡，石井雅之，大塚友吉，片岡晶志，川上寿一，小林一成，高田信二郎，高橋博達，野々垣学

年度内交代委員：芳賀信彦

## 1. 委員会の開催

本年度は5回の委員会を開催した。

## 2. 活動内容

### 1) 病態別実践リハビリテーション医学研修会

会員のための研修会として、研修会小委員会の実務のもと、以下の3病態のリハビリテーション研修会を企画、開催した。

- a) 「骨関節障害」 9月29日  
於：品川フロントビル会議室 受講者 97名
- b) 「神経系障害」 10月27日  
於：品川フロントビル会議室 受講者 110名
- c) 「内部障害」 2月16日  
於：品川フロントビル会議室 受講者 103名

なお、参加費について検討し、本年度はこのままとするが、来年度に向けて再検討することになった。

### 2) 実習研修会

8種類9回の実習研修会を共催した。

- (A) 第10回 小児のリハビリテーション実習研修会  
9月6～8日  
於 佐賀整肢学園こども発達医療センター 受講者 32名
- (B) 第16回 義手・義足適合判定医師研修会アドバンス・コース 9月2～3日&10月15日  
於 岡山国際交流センター&岡山労働基準監督署 受講者 10名
- (C) 第15回 臨床筋電図・電気診断学入門講習会  
10月1～2日  
於 慶應義塾大学病院 受講者 31名
- (D) 第4回 職業リハビリテーション研修会  
9月30日～10月1日  
於 岡山国際交流センター&吉備高原医療リハビリテーションセンター 受講者 7名
- (E) 第6回および7回 嚙下障害実習研修会  
10月6～7日&2月16～17日  
於 浜松市リハビリテーション病院&聖隷三方原病院 受講者 第6回28名 第7回28名
- (F) 第13回 脊損尿路管理研修会 12月1～2日  
於 海南市民病院 受講者 16名
- (G) 第7回福祉・地域リハビリテーション実習研修会 2月15～16日  
於 横浜市総合リハビリテーションセンター 受講者 21名
- (H) 第5回 動作解析・運動学実習研修会 3月21～

23日

於 藤田保健衛生大学 受講者 12名

### 3) 医学生・研修医リハビリテーションセミナー

- (1) 82施設より開催の申し出があり、春期・ゴールデンウィークは14名、夏期は21名の参加があった。
  - (2) 参加学生のあった施設にセミナーに関するアンケートを実施した。
  - (3) 参加学生の感想文をリハニュースおよび学会ホームページに掲載した。
  - (4) 平成25年開催に向けて全研修施設に開催の協力を募り、77施設から協力の返事を得た。春期は52施設、ゴールデンウィークは21施設、夏期は76施設での開催が可能である。
  - (5) チラシによる広報を復活させ、全国の医学部リハ担当者宛に送付した。
- ### 4) 専門医・認定臨床医 生涯教育研修会
- (1) 2-f, 2-gの単位申請期間の短縮(4カ月前から3カ月前へ)を検討し、平成25年度中なるべく早い時期に新システム稼働開始を目指すこととなった。2-fは1件1万円、2-gは1件5千円徴収予定とした。
  - (2) 地方会組織が担当する生涯教育研修会に関する内規・申し合わせについて周知するための文書を送付した。またより具体的な申し合わせを作成するべく議論した。
  - (3) 生涯教育の履修項目およびその単位付与について来年度の委員会で全般的な検討を開始することとした。
  - (4) 細則2)-e号に該当する関連学会、研究会の申請9件の審査を行った。
  - (5) 細則2)-f号に該当する研修会、研究会等の48件の審査を行った。
- ### 5) 一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会について
- (1) 平成25年4月14日に昭和大学で第2回研修会を開催することとなった。
- ### 6) 病態別実践リハビリテーション医学研修会 DVDについて
- (1) 病態別実践リハビリテーション医学研修会で作成したDVDの販売状況について検討し、メール等で理事、評議員、認定施設等に購入を勧める活動を行った。
- ### 7) リハビリテーション科医育成アクションプランに関連して

- (1) 第3回専門医試験受験支援講座を企画し、第49回日本リハビリテーション医学会学術集会の会期中に開催した。
  - (2) 新たに「初期研修医等医師向けリハビリテーション研修会」を企画し、第1回研修会を平成25年7月6日に品川フロントビル会議室で行う予定である。
- 8) 専門医制度に関連して
- (1) 新専門医制度で資格取得・更新に必須となる予定の医療倫理・安全に関する講演を第49回日本リハビリテーション医学会学術集会の会期中に開催した。当初は参加証明を参加者本人が保管することとしていたが、執行部からの強い要望で生涯教育講演と同様の管理システムを新たに導入することとなった。
  - (2) 指導医マニュアル案改訂および指導医講習会開催について議論をすすめた。平成26年の第51回学術集会から指導医講習会を開催できるよう、内規改正を含め準備・作業をすすめることとなった。
  - (3) 新専門医制度に対応した研修プログラム作成について議論を進めた。上記(2)と合わせ専門医制度対策委員会と連絡を密にして検討を進めることを確認した。

#### 4 資格認定委員会報告

担当理事：浅見豊子

委員長：佐伯 覚

委員：浅野由美，岡本さやか，下堂蘭恵，永野靖典，横山 修

##### 1. 委員会の開催

平成24年度は年6回の委員会を開催した。

##### 2. 活動内容

- 1) 専門医の認定及び資格更新について
  - (1) 専門医試験を実施し、専門医96名を認定した。
  - (2) 専門医の資格更新審査を行い、139名（認定臨床医資格の繰上げ更新を含む同時更新：81名，専門医資格のみ更新：58名），資格保留2名，資格喪失7名であった。現在の専門医数は1942名（資格保留者を除く）である。
  - (3) 専認構の公式見解に基づく専門医資格認定要件を検討した。
  - (4) 専門医資格更新において、医療倫理・安全講習会受講の必修化を要件とする会則改正案を作成した。

##### 2) 認定臨床医の認定及び資格更新について

- (1) 認定臨床医試験を実施し、認定臨床医64名（研修施設での1年以上の研修による：39名，教育研修会・講演の受講と指導責任者の推薦による：25名）を認定した。
  - (2) 認定臨床医の資格更新審査を行い、資格更新962名，延長4名，資格保留301名，資格喪失233名であった。現在の認定臨床医数は3429名（資格保留者を除く）である。
  - (3) 70歳以上の終身化資格制度を整備し、会則を改正した。
  - (4) 上記(3)に伴う会員管理システムの整備を行った。
- 3) 指導責任者の認定及び資格更新について
- (1) 指導責任者の申請を審査し、52名を認定した。
  - (2) 指導責任者の資格更新審査を行い、資格更新50名，喪失8名であった。現在の指導責任者数は982名（資格保留者を除く）である。
  - (3) 指導責任者資格要件を検討し、会則改正案を作成した。
- 4) その他
- (1) 委員会改組に伴う業務分担の見直しならびに関係規則の変更修正を行った。

#### 5 施設認定委員会報告

担当理事：田島文博

委員長：尾花正義

委員：小口和代，船越政範，美津島隆，和田恵美子

##### 1. 委員会の開催

平成24年度は年3回（内1回は資格認定委員会と合同）の委員会を開催した。

なお、委員会とは別に、メール審査を1回実施した。

##### 2. 活動内容

##### 1) 研修施設の認定及び資格更新について

- (1) 研修施設の申請を審査し、42施設を認定した。
  - (2) 研修施設の年次・更新調査を行い、適格519施設，保留2施設，不適格10施設であった。現在の研修施設数は539施設（資格保留施設を除く）である。
  - (3) 研修施設Webシステムの項目追加は保留とした。
- 2) その他
- (1) 「基幹研修施設」と「関連研修施設」について検討した。

- (2) 委員会の内規の一部を改正した。
- (3) 専認構による研修施設への訪問調査について報告した。

## 6 試験委員会報告

担当理事：白倉賢二，芳賀信彦

委員長：中馬孝容

委員：江口 清，加賀谷齊，笠原 隆，菊地尚久，木下 篤，小林宏高，佐藤新介，関 勝，田中一成，中島英樹，長谷公隆，松本真以子，山中義崇，横井剛

年度内交替委員：新藤恵一郎

### 1. 委員会の開催

本年度は筆記・口頭合同委員会3回，筆記担当委員会7回，口頭担当委員会4回の委員会を開催した。

### 2. 活動内容

- 1) 平成24年度日本リハビリテーション医学会専門医試験の筆記問題150題を作成した。
- 2) 平成24年度日本リハビリテーション医学会専門医筆記試験（平成25年3月7日に実施）を実施した。
- 3) 平成24年度日本リハビリテーション医学会認定臨床医試験の問題100題を作成した。
- 4) 平成24年度日本リハビリテーション医学会認定臨床医試験（平成25年3月7日に実施）を実施した。
- 5) 平成24年度日本リハビリテーション医学会専門医口頭試験において標準問題を導入し，これに伴い口頭試験の判定基準を再検討した。
- 6) 平成24年度日本リハビリテーション医学会専門医口頭試験（平成25年3月8日に実施）を実施した。
- 7) 平成24年度日本リハビリテーション医学会専門医試験・臨床認定試験合格者について判定した。
- 8) 専門医試験問題・認定臨床医試験問題の学会誌掲載を行った。

## 7 診療ガイドライン委員会報告

担当理事：生駒一憲

委員長：辻 哲也

コア委員：藤原俊之，高橋秀寿，上月正博，古澤一成，花山耕三，橋本茂樹

### 1. 委員会の開催

計37回の委員会を開催した（診療ガイドラインコア委員会6回，脳卒中治療ガイドライン策定委員会3回，脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委

員会4回，リハビリテーション連携バス策定委員会6回，障害者体力評価ガイドライン策定委員会7回，神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会3回，がんのリハビリテーション策定委員会5回，がんのリハビリテーショングランドビジョン作成ワーキンググループ3回，電子会議も含む）。

### 2. 活動内容

#### 1) 診療ガイドラインコア委員会

現在作成中で今後5年以内に完成が見込まれる診療ガイドライン（脳性麻痺，神経筋・呼吸，連携バス，体力評価，がんのリハ）および「がんのリハビリテーション懇話会」は本学会の50周年記念事業企画と位置づけられている。

委員会の内規改訂（委員会の議長は，担当理事または委員長とする，等）については，コア委員会委員および各策定委員会で承認された。

#### 2) 脳卒中治療ガイドライン策定委員会

脳卒中治療ガイドラインの改訂作業が始まる。今回のガイドラインは脳卒中学会が中心となってガイドライン委員会を組織し，各学会がそこに参加する形で作業が行われる予定。

本学会策定委員会委員は脳卒中ガイドライン委員会（脳卒中学会）リハ部門の委員を兼務し，脳卒中ガイドライン委員会（脳卒中学会）班長 園田茂先生は両委員会間の連絡調整のために本学会策定委員会特別委員を兼務する。

#### 3) 脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委員会

ガイドライン第2版の作成に向け作業実施中。ガイドライン原案について，本医学会会員からパブリックコメント募集は終了。設立50周年記念事業企画「障害者体力評価ガイドライン」として出版予定（出版社，出版期日は未定）。

#### 4) 呼吸リハビリテーションガイドライン作成委員会

「呼吸リハビリテーションマニュアル—運動療法」(昭林社)の初版は2003年に出版され，国内初の学会主導の呼吸リハビリテーションマニュアルということで好評を博し3万部以上の販売実績を得た。初版では日本呼吸ケア・リハビリテーション学会(旧 日本呼吸管理学会)，日本呼吸器学会，日本理学療法士協会の3団体による編集であったが，第2版では本策定委員会委員が編集(査読業務)に加わった。

日本呼吸ケア・リハビリテーション学会呼吸リハビリテーション委員会ワーキンググループ、日本呼吸器学会呼吸管理学会部会、日本リハビリテーション医学会呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会、日本理学療法士協会呼吸理学療法診療ガイドライン作成委員会が編集した「呼吸リハビリテーションマニュアル—運動療法—第2版」(昭林社)は2012年11月に出版された。

策定委員会はその役割を終えたことから、2013年3月に解散した。

#### 5) リハビリテーション連携パス策定委員会

地域包括ケアシステムの導入が促進されつつある現状において、急性期・回復期と維持期との連携を促進し、リハビリテーション医療の関わり方やリハビリテーション科医の役割などについて啓発していくために、「リハビリテーションと地域連携・地域包括ケア(仮)」(診断と治療社)の策定作業継続中。設立50周年記念事業企画として2013年5月末に出版を予定。

#### 6) 障害者体力評価ガイドライン策定委員会

ガイドラインの作成に向けて脊髄損傷と脳血管障害のグループに分かれて作業継続中。ガイドライン原案について、本医学会会員からパブリックコメント募集は終了。設立50周年記念事業実行企画「障害者体力評価ガイドライン」(金原出版)として2013年6月に出版予定。

#### 7) 神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会

ガイドラインの作成に向けて作業実施中。総論は原案完成、各論については原案の作成作業継続中。設立50周年記念事業企画として、2014年春までの出版を予定。

#### 8) がんのリハビリテーションガイドライン策定委員会

平成22～24年度厚生労働科学研究補助金(第3次対がん総合戦略研究事業)「がんのリハビリテーションガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究(主任研究者 辻哲也)」として、ガイドラインの作成に向けて作業実施中。ガイドライン原案について、本医学会会員からパブリックコメント募集は終了。設立50周年記念事業実行企画「がんのリハビリテーションガイドライン」(金原出版)として、2013年4月に出版予定。

本策定委員会委員、関連学協会から推薦された委員から構成されたがんのリハビリテーションガイド

ライン作成ワーキンググループが活動中。2013年3月に「がんのリハビリテーションガイドライン」が完成し、ガイドラインとともに全国の癌診療連携拠点病院に配布予定。活動の一環として、平成25年1月12日に笹川記念会館(東京都港区)にて、「第2回がんのリハビリテーション懇話会」を開催、全国から300名余りの参加者があった。本懇話会は50周年記念事業企画として承認されている。

#### 9) 大規模災害対応リハビリテーションマニュアル策定委員会

東日本大震災リハビリテーション支援関連10団体では、今後の大規模災害に多職種が連携して対応できるような基盤をつくるために、本医学会の里宇前理事長がワーキンググループ委員長となり、「大規模災害対応リハビリテーションマニュアル」(医歯薬出版)の策定を合同で行い、2012年5月に出版された。本医学会においても本策定委員会を立ち上げ、10団体の動きと連動して作業を行った。

策定委員会はその役割を終えたことから、2012年7月に解散した。

## 8 社会保険等委員会報告

担当理事：石川 誠、水落和也

委員長：川手信行

委員：赤澤啓史、赤星和人、稲川利光、岩田 学、大串 幹、大塚健一、木村浩彰、小山照幸、近藤国嗣、斉藤正身、菅原英和、杉原勝宣、田中宏太佳、藤谷順子

### 1. 委員会の開催

本年度は平成24年4月27日、9月7日、11月2日、平成25年1月11日、3月8日、計5回の委員会を開催した。

### 2. 活動内容

#### 1) 医療保険に関する活動

##### (1) 内保連関連

- ・例会、運営会議、呼吸器関連委員会、神経関連委員会、リハ関連委員会、検査関連委員会、および本年度から在宅医療委員会に参加し、意見を述べた。
- ・リハ関連委員会において、平成26年度診療報酬改定に向けたリハ関連領域に関する意見交換を行い、現在関連学会・団体と調整中である。
- ・平成26年度診療報酬改定を目指して内保連を通

じて提案書を提出するため準備を行った（現在進行中）。

#### 外保連関連

・総会、実務委員会、処置委員会、検査委員会、麻酔委員会に委員が参加し意見を述べた。

・平成 26 年度診療報酬改定に向けたリハ関連診療報酬に関する意見交換を行い、外保連より提案書を提出するための準備を行った。（現在進行中）。

(2) 平成 24 年度診療報酬改定に関するリハ関連領域をリハニュース 53 号、および学会誌 49 巻 6 号に掲載した。

(3) 平成 24 年度診療報酬改定に関するリハ関連領域についての会員の意見を聴取し、平成 26 年度診療報酬改定に対する意見を集約するため WEB アンケートを行い集計し学会誌 49 巻 11 号に掲載した。

(4) リハ関連団体協議会との連携を行い、共同提案について協議を行った（現在進行中）。

(5) 診療報酬改定の根拠となる資料を作成するため、小山委員が中心となって「急性期リハ関連職種実態調査 WG」を立ち上げ、活動調査を開始した。

#### 2) 介護保険に関する活動

(1) リハ医療関連団体協議会において、平成 24 年度介護保険改定のリハ関連項目について議論し、意見調整・共同提案を行った。

(2) 平成 24 年度介護保険改定に関するリハ関連領域をリハニュース 53 号、および学会誌 49 巻 6 号に掲載した。

(3) 平成 24 年度介護保険改定に関するリハ関連領域についての会員の意見を聴取し、平成 27 年度介護保険改定に対する意見を集約するため WEB アンケートを行い集計し学会誌 49 巻 11 号に掲載した。

#### 3) がんのリハビリテーション研修会への協力

「がんのリハビリテーション研修会」が日本理学療法士協会・作業療法士協会・言語聴覚士協会・がん看護学会・リハ看護学会とリハ医学会が共催で、平成 24 年 4 月 7・8 日（岡山）、7 月 7・8 日（東京）、10 月 20・21 日（東京）、平成 25 年 2 月 23・24 日（東京）で開催され、その運営に協力した。

### 9 障害保健福祉委員会報告

担当理事：水落和也

委員長：篠原裕治

委員：大仲功一、大隈秀信、正岡 悟、大野重雄、

角田 亘、下菌英史

年度内交代委員：奥村元昭

#### 1. 委員会の開催

本年度は計 4 回開催した。10 月に 1 名の委員交代があった。

#### 2. 活動内容

1) 障害者自立支援法と障害児・者を取りまく関連制度等の検討

障害者自立支援法関連においては、障害児・者に関連して施行される法律のなかで、重要と思われる項目についてリハニュースの委員会だよりで広報した。内容は 53 号で、「障害者虐待防止法」と「整備法（つなぎ法）」による児童福祉法・一部改正の施行（2012 年 4 月 1 日）についてと、56 号で障害者自立支援法に変わる障害者総合支援法の施行と概要についてである。産科医療補償制度における補償参考事例について、学会 HP の会員専用ページにて補償対象の考え方と参考事例を掲載した。

福祉サービスの重要な要素である身体障害者手帳診断書作成と補装具意見書作成についてのリハビリテーション科医に対する WEB アンケートを実施中（2 月末締切）である。

2) 社会参加推進のための障害者スポーツの検討

「障害者の体力評価ガイドライン策定委員会」に大隈委員が参加し、脳卒中と脊髄損傷者の体力評価ガイドラインを執筆中である。

WEB アンケートにて行った「リハビリテーション科医に対する障害者スポーツに関する実態調査」の結果報告を学会誌 49 巻 12 号に報告した。

3) 地域リハビリテーションのあり方とリハビリテーション科医のあり方の検討

地域リハビリテーション（リハ）広域支援センターにおける独自の、先駆的事業の内容を郵送によるアンケートにて調査し、リハニュースにて 55 号より 3 号連載にて広報した。56 号が東京都リハ病院、1 月号が東京都北多摩北部地域リハ支援センター多摩北部医療センターと千葉県香取海匝地域リハ広域支援センター国保旭中央病院、57 号が長崎県県南地域リハ広域支援センター池田病院である。

リハビリテーション機能を強化した地域包括ケアシステム構築へ向けて、日本介護支援専門員協会ホームページ上において介護支援専門員の現況に関する WEB アンケートを設定し、近日実施予定である。

## 10 関連機器委員会報告

担当理事：朝貝芳美

委員長：高橋紀代

委員：江畑公仁男，加藤 剛，河村顕治，近藤健男，鈴木 禎，橋爪紀子

年度内交代委員：福田寛二

### 1. 委員会の開催

本年度は2回の委員会を開催した。

### 2. 活動内容

- 1) 関連機器データベース作成を目標に，リハビリテーション関連機器・福祉機器分類案を作成した。リハ学会 HP の会員専用ページにリハ機器分類試案を PDF で掲載し，一般会員の意見を掲示板に書き込んでもらった。コメント公募期間は平成 24 年 8 月 1 日～平成 25 年 1 月 31 日とし，パブリックコメント募集の広報はリハニュース 55, 56 号と会員メールで2回行った。掲示板の意見やリハ学会事務局に直接届いた意見を集約し，平成 24 年度第2回委員会にて検討した。当委員会にて作成したリハ機器分類試案に対するご意見への検討結果は，今後のリハニュースの委員会だよりにて順次掲載する予定である。

## 11 関連専門職委員会報告

担当理事：朝貝芳美

委員長：武居光雄

委員：堀田富士子，中村純人，竹川 徹，萩野 浩

### 1. 委員会の開催

本年度は年2回（平成 24 年 8 月 10 日，平成 25 年 3 月 2 日）の委員会を開催した。

### 2. 活動内容

- 1) 昨年度実施した関連専門職教育に関するリハ科専門医の役割についてのアンケート調査報告に基づいて，今後どのようにすれば良い教育の機会を提供できるかについて検討し，リハ科専門医とリハ関連専門職養成校（大学も含む）とのマッチングを行うこととし，そのための調査を行う予定になった。
- 2) 理学療法士・作業療法士養成施設等教員講習会の開催及び，判定会議，修了式出席

厚生労働省と医療研修推進財団との共催の上記講習会（東京地区と大阪地区2カ所で開催）の運営委員長・議長として活動した。

来年度からは言語聴覚士も講習会に参加することを

決定し，その準備を行った。将来的には他の医療職種，ひいては福祉職種にも門戸を広げたいと考えている。

- 3) 前年度に引き続き，特定看護師について，情報収集・意見交換をした。
- 4) リハ医に望むこと，期待することに関して各職種（職能団体）へアンケート調査を行う。リハ科専門医及びリハ医学会と関連専門職との良好な関係を築くことが今後のリハ医学会の在り方に重要であると考える。このアンケート雛形に関して討論を行った。
- 5) 他の職種の情報収集

CP（臨床心理士）の国家資格化に関して、『医療心理師国家資格推進協議会』に加盟しリハ医学会として応援する方向で検討することとなった。また，他の国家資格のない職種をどうするか（例えば MSW）についても議論を行った。

地域リハビリテーションの観点から医科歯科連携の強化をどうするか？ 腎臓リハビリテーションの普及・啓発のために臨床工学技士等の透析スタッフへの教育・協力体制構築をどうするか？ 高次脳機能障害に関わる他の職種との更なる協力体制構築が必要であるが，特に教育庁・教育委員会などの行政，障害者職業センター等の支援体制強化をどうするか？ 看護 72 時間ルールの改良を提案できないか？ 他の団体との整合性，例えば，日本リハビリテーション病院・施設協会，回復期リハビリテーション病棟協会などいろいろな団体があり，同一目的をもって一緒にロビー活動等が行えるか？ 医療と福祉の間で，今まで以上の強固な関係を築くために共通言語の作成や学生教養課程でのカリキュラムを同一にできないか？ また，福祉職で可能な医療行為の再検討。関連専門職委員会メンバーについて，可能であれば関連専門職委員会に職能団体の代表（特に PT, OT, ST）も参加していただくことができないか？ 等も検討した。チーム医療を推進し，より良いリハ医療提供のためにリハ科専門医がリーダーシップを取り，関連専門職とどのように協力すべきかについて，今後も議論が必要である。

- 6) 小児高次脳機能障害に関して

未だに小児高次脳機能障害の実態調査さえ行われていない状況のため，まず，現状把握のために大分県内にてプレリナリー調査を行い，その結果を基に今後の取り組み方等を検討することとした。

- 7) 産科医療補償制度の普及・啓発について各委員へ伝達を実施した。
- 8) リハ医学会 50 周年記念事業関連専門職パネルディスカッションの内容提案に関して議論した。

## 12 会則検討委員会報告

担当理事：上月正博

委員長：伊勢眞樹

委員：伊藤 修，猪飼哲夫，梅津祐一，近藤和泉，関 勝

### 1. 委員会の開催

本年度はメールによる審議 8 回，委員会 1 回として計 9 回の委員会を開催した。

### 2. 活動内容

- 1) 「役員を選任に関する内規」「生涯教育に関する内規」等の各委員会から提出された改定された内規の 4 件について，会則の整合性の検討を「会則に関する取り決め」に従い，メールによる審議を行って各委員会および理事会へ回答した。
- 2) 9 名の医師以外正会員の入会審査を当該内規に従い，メールによる審議を行い，理事会へ推薦した。

## 13 広報委員会報告

担当理事：安部雅博

委員長：阿部和夫

委員：伊藤倫之，緒方敦子，数田俊成，佐々木信幸，長谷川千恵子，森 憲司  
年度内交替委員：安部基幸

### 1. 委員会の開催

委員会を 4 回開催した (2012.4.27, 7.13, 10.19, 2013.1.11)

### 2. 活動内容

#### 1) リハニュースの発行

- (1) 53 号 (2012.4.15:2012 年診療報酬改定について)，54 号 (7.15:学会創立 50 周年記念エッセイ大賞報告)，55 号 (10.15:理事長就任にあたって，地域連携)，56 号 (2013.1.15:リハビリテーションと栄養) を発行した。
- (2) 学会創立 50 周年を記念して，エッセイを募集し，選考により大賞などを選出した。

#### 2) ホームページ運用

- (1) 新規/修正あわせて 127 件に対応した (2013.2.25 現在)。新規/修正は年々増加している。

(2) 見やすいホームページの変更を計画しており，次年度の完成を目指している。

(3) 教育用の e-learning などに活用するような動画を載せることができるスマホやタブレット PC 用のホームページを企画中であり，次年度の完成を目指している。

### 3) その他

- (1) 日本リハビリテーション医学会設立 50 周年キャッチフレーズを募集した。
- (2) リハビリテーション現場の写真を募集するコンテストを行った。

## 14 国際委員会報告

担当理事：佐浦隆一

委員長：花山耕三

委員：青木隆明，池田 聡，松永俊樹，山田 深

### 1. 委員会の開催

本年度は年 3 回の委員会を開催した。

### 2. 活動内容

#### 1) 海外研修助成プログラム

平成 24 年度海外研修助成プログラムとして，井口はるひ先生，平野哲先生，畠中めぐみ先生，以上 3 名の研修を助成し，平成 24 年度内に海外研修 (学会発表・施設訪問) が実施された。また，本年度は通常助成で応募者が定員に満たなかったため，追加募集を行った。

平成 25 年度海外研修助成プログラムについて，募集ならびに候補者の選定を行った。

#### 2) 外国人リハ医師短期交流助成プログラム

平成 24 年度は前年度につづき応募者はなかった。

平成 25 年度外国人リハ医師短期交流助成プログラムについては，名誉会員，役員，評議員へのメルマガ配信，H/C メンバーへの annual report，英文ホームページにより募集を行い，候補者の選定を行った。

#### 3) Honorary/Corresponding Member との連携体制

Honorary/Corresponding Member へは，学会終了後に英文の本学会の年間活動報告 (総会資料抜粋)，12 月にグリーティングカードおよび記念品を送付した。

#### 4) Honorary/Corresponding Member の拡充

欧米やアジア地域のリハ医学会とその指導者の情報を集め，Honorary/Corresponding Member 候補の探索を行った。中国の李健軍先生 (China Rehabilitation

Research Center) が Corresponding Member として承認された。

5) アジア・オセアニア地区リハビリテーション医学会議 (AOCPRM) 特別海外研修助成プログラムの実施

伊藤真梨先生, 大沢愛子先生, 以上 2 名の研修を助成し, 平成 24 年度内に海外研修 (学会発表) が実施された。

6) 日韓合同カンファレンスについて

韓国側が今後の開催などについて持ち帰って協議中であるが, その後の進展はない。

7) 英文ホームページの充実

広報委員会と共同で, 英文ホームページの内容の見直し, 刷新について作業を行った。

8) その他

① 50 周年記念事業について

第 50 回学術集會で行われる予定の記念シンポジウム「海外リハ交流医受入制度で来日したアジアのリハ医たち」につき, シンポジストについての情報収集, 候補者選定等の作業を行った。

② リハニュースへの投稿

リハニュース 55 号に「新担当理事・委員長挨拶」, 56 号に「外国人リハ医師短期交流助成プログラムの紹介と新たな受け入れ施設の募集に関する記事」を委員会だよりとして投稿し, 掲載された。

③ 各種問合せへの対応

内外からの英文での問合せについて, 必要に応じ対応を行った。

### 3. 委員長, 委員の交代

平成 24 年 5 月 31 日付で委員長が, 志波直人委員長から花山耕三委員に交代した。志波直人委員長は委員として国際委員会に所属することになったが, 志波直人委員が理事に就任し国際委員会委員を解嘱されたため, 平成 24 年 10 月 1 日付で山田深委員が任命された。

### 16 データマネジメント委員会報告

担当理事: 赤居正美

委員長: 近藤克則

委員: 菊地尚久, 近藤和泉, 佐伯 覚, 田中宏太佳, 藤原俊之, 宮井一郎, 宮越浩一

年度内交替委員: 佐浦隆一

#### 1. 委員会の開催

委員会を 2 回, 学会のシステムの掲示板を活用した

審議を適宜開催した (2012.10.8, 2013.2.23)

#### 2. 活動内容

1) 日本リハビリテーション・データベース協議会の設立

日本理学療法士協会, 日本作業療法士協会, 日本語聴覚士協会とともに, 2012 年 9 月 4 日に, 日本リハビリテーション・データベース協議会 (Japanese Association for Rehabilitation Database, JARD) を設立した。データベースの改訂や入力, 共同研究などによる活用などの面における共同運用を開始した。運用に関わる経費を賄うために各団体から費用の拠出をお願いしたことによって, 学会単独で運用するの比べ, 費用が 3 分の 1 に節減が可能となった。

2) リハビリテーション患者データベースを用いた効果的なプログラムに関する調査研究事業

厚生労働省の老人保健事業推進費等補助金 (老人保健健康増進等事業分) に上記研究計画で応募し採択された。約 1300 万円の外部資金を獲得したことで, 電子カルテシステム (ソフトウェア・サービス社など 2 社) からのデータ取り込み用のテンプレート開発, 訪問リハビリテーションに関する調査費用, 参加施設にもデータ提供謝金などを確保でき, 累積登録患者数が 1.3 万人を超えるレベルに事業規模を拡大できた。

3) データマネジメント・システムの運用

上記外部資金も活用し, データ登録, データを活用した調査研究, 学術総会への登録演題の査読, データベースの改訂など, 従来からの運用に関わる事業を行った。

### 16 システム委員会報告

担当理事: 赤居正美

委員長: 船越政範

委員: 伊藤倫之, 羽田康司, 馬場 尊, 小口和代, 近藤和泉

特別委員: 園田 茂, 山田 深, 笠井史人

年度内交替委員: 横山 修, 佐伯 覚

#### 1. 委員会の開催

委員会をインターネット会議として 3 回開催した (2012.3.11-7.9, 7.20-9.9, 9.10-11.18)。

#### 2. 活動内容

1) システムの改良

アンケート等に利用する, 自由に項目を設定したフォームを作成し WEB 上でデータを受け付ける汎用

フォーム（アンケートシステム）を導入した。掲示板解決済みフラグ誤使用による不具合に対する改修を行った。電磁的方法による選挙に関してシステムの面から対応を行った。

## 2) システム運営

システムに関する機能調整を各委員会と行った。専門医会の痙縮 SIG コアメンバー用と SIG 全メンバー用の2つの掲示板をメンバー内の書き込みメール転送機能つきで作成した。

## 3) システムの普及活動

第50回学術集会の演題登録においても、会員用 Web システムのトップページ（お知らせ欄）を経由して行う仕組みにしてもらい、会員のシステム登録を促した。

## 4) システム登録者数

平成25年3月31日現在、5,624名である。

## 17 専門医会報告

担当理事：椿原彰夫

幹事長：近藤和泉

副幹事長：大串 幹，笠井史人

幹 事：青柳陽一郎，大田哲生，下堂 蘭 恵，中村健，平岡 崇，藤原俊之，八幡徹太郎

### 1. 総会，学術集会，幹事会の開催

本年度は総会2回（定例1回，臨時1回），学術集会1回，幹事会5回を開催した。その他，幹事会専用掲示板にて議論，情報交換等を行った。

### 2. 活動内容および報告

#### 1) 総会（平成24年6月および11月）

平成24年6月1日の第49回日本リハビリテーション医学会学術集會中に臨時総会を開催した。議題は①第7回リハビリテーション科専門医会学術集會準備状況，②第8回リハビリテーション科専門医会学術集會準備状況，③第9回リハビリテーション科専門医会学術集會代表世話人に関して，④次回幹事選挙に関して，⑤RJN 活動報告，⑥各 SIG 活動報告（小児リハ，基礎研究，脊髄障害，切断・義肢，ポリオ後症候群），⑦痙縮治療 SIG 設立に関して，⑧リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告，⑨専門医会実技研修支援，⑩専門医間の交流会活動，⑪専門医会 HP に関してであった。

平成24年11月17日の第7回リハビリテーション科専門医会学術集會中に名古屋国際会議場レセプシ

ンホールにて定例総会を開催した。議題は①幹事選挙結果，②第8回リハビリテーション科専門医会学術集會準備状況，③第9回リハビリテーション科専門医会学術集會準備状況，④RJN 活動報告，⑤各 SIG 活動報告（小児リハ，基礎研究，脊髄障害，切断・義肢，ポリオ後症候群，痙縮治療），⑥リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告，⑦専門医間の交流会活動報告，⑧専門医会実技研修支援に関して，⑨専門医会市民公開講座報告，⑩専門医会研究補助金助成対象者募集であった。その他，会員から今後の専門医制度の動向に関して紹介いただきたいとの意見があり，菊地尚久幹事長（当時），石合純夫幹事（当時）から説明があった。また専門医会として新しい制度に沿って積極的に新専門医を勧誘していく活動を行っていくとの報告があった。

#### 2) 幹事会

平成24年5月31日に福岡国際会議場504会議室にて第1回幹事会を開催した。議題は①第7回リハビリテーション科専門医会学術集會準備状況，②第8回リハビリテーション科専門医会学術集會進行状況，③第9回リハビリテーション科専門医会学術集會進行状況，④RJN 活動報告，⑤各 SIG 活動報告（小児リハ，基礎研究，脊髄障害，切断・義肢，ポリオ後症候群，痙縮治療），⑥リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告，⑦専門医間の交流会活動，⑧専門医会実技研修支援，⑨専門医会市民公開講座，⑩専門医会 HP 改修，⑪次回専門医会幹事選挙に関してであった。

平成24年9月16日に東京八重洲倶楽部にて第2回幹事会を開催した。議題は①第7回リハビリテーション科専門医会学術集會準備状況，②第8回リハビリテーション科専門医会学術集會進行状況，③第9回リハビリテーション科専門医会学術集會進行状況，④RJN 活動報告，⑤各 SIG 活動報告（小児リハ，基礎研究，脊髄障害，切断・義肢，ポリオ後症候群，痙縮治療），⑥リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告，⑦専門医間の交流会活動，⑧専門医会実技研修支援，⑨専門医会市民公開講座，⑩次回専門医会幹事選挙に関してであった。

平成24年11月17日に名古屋国際会議場会議室にて第3回幹事会を開催した。議題は①幹事選挙結果報告，②第8回リハビリテーション科専門医会学術集會進行状況，③第9回リハビリテーション科専門医会学

平成 24 年度 事業報告

(平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで)

術集会進行状況, ④ RJN 活動報告, ⑤各 SIG 活動報告 (小児リハ, 基礎研究, 脊髄障害, 切断・義肢, ポリオ後症候群, 痙縮治療), ⑥リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告, ⑦専門医会実技研修支援, ⑧専門医会市民公開講座報告, ⑨新専門医会幹事会への引き継ぎであった。

平成 24 年 11 月 18 日に名古屋国際会議場会議室にて第 4 回幹事会を開催した。議題は①幹事長および副幹事長の互選で, 近藤和泉が幹事長に互選され, 副幹事長に大串幹, 笠井史人が選任された。その他の議題は, ②ポストポリオ SIG と基礎研究 SIG の担当幹事, ③専門医会幹事選挙制度, ④今後の幹事会運営であった。

平成 25 年 1 月 27 日に AP 東京にて第 5 回幹事会を開催した。議題は①第 8 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況, ②第 9 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況, ③ RJN 活動報告, ④各 SIG 活動報告, ⑤リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告, ⑥専門医会実技研修支援, ⑦平成 25 年度予算に関して, ⑧専門医会幹事選挙の制度改革について, ⑨日本専門医制評価・認定機構の専門医制度改革に対する提言および情報発信のための WG の設置について, ⑩今後の SIG 活動に関して (外部研究資金を導入, 多施設共同研究および新 SIG の提案等), ⑪リハ医学・医療の均霑化を目指した地方会との連携についてであった。

3) 第 7 回専門医会学術集会の開催

上述した総会, 幹事会とともに, 平成 24 年 11 月 17 日, 18 日に名古屋国際会議場にて第 7 回専門医会学術集会が青柳陽一郎代表世話人により開催され, 盛会のうちに閉会した。

■ 審議事項

I. 平成 24 年度事業報告及び収支決算報告

平成 24 年度事業報告について, 庶務担当の才藤副理事長から説明が行われ, 原案どおり承認された。

次に, 平成 24 年度収支決算報告について, 財務担当の出江副理事長から説明が行われ, 引き続き木村監事, 久保監事, 住田監事から, 平成 24 年度の事業報告及び計算書類, 附属明細書, 財産目録の監査を実施した結果, 適正に処理されていると認める旨の報告が行われ, 原案どおり承認された。(表 1~6)

1. 会員現況

	平成 25 年 3 月 31 日	平成 23 年 3 月 31 日	増 減
会員総数	9,823 名	9,765 名	58 名
医 師	9,637 名	9,574 名	63 名
医師以外	186 名	191 名	△ 5 名

(名誉会員含)  
新入会 514 名  
退 会 456 名

物故会員 (敬称略)

宮良 長和	山邊 登	保田 龍男	成田 寛志
小川 智子	山崎 征治	羽山 和生	内藤 浩一
川口 仁	高橋 智	塚本 榮治	雪竹 修司
菊山 真行	山田 榮	天海 憲一	中田 豊
吉川 卓司	細川 雅永	川村 次郎	土肥 信之
本多 純男	宇野 淳	鎌田 竜士	河村 昭徳
武田 躬行	佐藤 哲		

2. 役員, 評議員, 各種委員会委員

役 員: 理事長 1 名 業務執行理事 3 名, 理事 20 名, 監事 3 名, 幹事 3 名

代議員: 294 名

各種委員会委員: 編集委員会 10 名, 評価・用語委員会 8 名, 教育委員会 10 名, 資格認定委員会 6 名, 施設認定委員会 5 名, 試験委員会 15 名, 診療ガイドライン委員会 7 名, 社会保険等委員会 15 名, 障害保健福祉委員会 7 名, 関連機器委員会 7 名, 関連専門職委員会 5 名, 会則検討委員会 5 名, 広報委員会 7 名, 国際委員会 5 名, データマネジメント委員会 8 名, システム委員会 6 名

3. 学術集会の開催について

1) 第 49 回日本リハビリテーション医学会学術集会を, 平成 24 年 5 月 31 日, 6 月 1 日, 2 日の 3 日間, 福岡国際会議場に於いて開催した。

2) 第 7 回専門医会学術集会を, 平成 24 年 11 月 17 日, 18 日の 2 日間, 名古屋国際会議場に於いて開催した。

4. 諸会議

1) 代議員総会の開催: 平成 24 年 5 月 30 日

2) 理事会の開催: 第 1 回 平成 24 年 4 月 21 日

第2回 平成24年5月30日  
第3回 平成24年5月30日  
第4回 平成24年7月14日  
第5回 平成24年9月15日  
第6回 平成24年11月24日  
第7回 平成25年1月26日  
第8回 平成25年3月23日

開催日 平成24年9月8日  
開催場所 金沢大学病院十全講堂  
出席者数 45名

○第33回北陸地方会総会  
開催日 平成25年3月9日  
開催場所 ホテル金沢  
出席者数 57名

### 3) 地方会総会・学術集会の開催

#### (1) 北海道地方会

○第25回北海道地方会  
開催日 平成24年4月21日  
開催場所 札幌医科大学記念ホール  
出席者数 63名  
○第26回北海道地方会  
開催日 平成24年9月22日  
開催場所 北海道大学医学部学友会館フラテホール  
出席者数 39名

#### (2) 東北地方会

○第32回東北地方会  
開催日 平成24年10月20日  
開催場所 山形市保健センター（霞城セントラル3F）  
出席者数 140名  
○第33回東北地方会  
開催日 平成25年3月9日  
開催場所 仙台市シルバーセンター（7階）第一研修室  
出席者数 104名

#### (3) 関東地方会

○第52回関東地方会学術集会  
開催日 平成24年9月8日  
開催場所 東京大学山上会館  
出席者数 252名  
○第53回関東地方会学術集会  
開催日 平成24年12月8日  
開催場所 慶應義塾大学三田キャンパス西校舎  
出席者数 252名  
○第54回関東地方会学術集会  
開催日 平成25年2月2日  
開催場所 新潟ユニゾンプラザ  
出席者数 116名

#### (4) 北陸地方会

○第32回北陸地方会総会

#### (5) 中部・東海地方会

○第31回中部・東海地方会総会  
開催日 平成24年8月25日  
開催場所 大正製薬株式会社 名古屋支店  
出席者数 86名  
○第32回中部・東海地方会  
開催日 平成25年2月2日  
開催場所 大正製薬株式会社 名古屋支店  
出席者数 84名

#### (6) 近畿地方会

○第33回近畿地方会学術集会  
開催日 平成24年9月15日  
開催場所 大津市民会館  
出席者数 128名  
○第34回近畿地方会学術集会  
開催日 平成25年3月9日  
開催場所 生田文化会館  
出席者数 134名

#### (7) 中国・四国地方会

○第29回中国・四国地方会総会  
開催日 平成24年7月1日  
開催場所 アルファあなぶきホール（香川県県民ホール）  
出席者数 143名  
○第30回中国・四国地方会総会  
開催日 平成24年12月2日  
開催場所 広島大学病院第4・5講義室  
出席者数 101名

#### (8) 九州地方会

○第32回九州地方会  
開催日 平成24年9月9日  
開催場所 鹿児島大学医学部鶴陵会館  
出席者数 163名  
○第33回九州地方会  
開催日 平成25年2月24日  
開催場所 久留米大学筑水会館 大ホール

▶表 1

貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	11,906,220	9,006,659	2,899,561
前払金	95,029	3,653,000	△ 3,557,971
前払費用	22,665	22,665	0
未収金	744,345	969,255	△ 224,910
流動資産合計	12,768,259	13,651,579	△ 883,320
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
学術研究助成資産	60,015,041	60,000,000	15,041
学術集會事業積立資産	10,000,000	10,000,000	0
退職給付引当資産	6,154,860	4,791,525	1,363,335
特定資産合計	76,169,901	74,791,525	1,378,376
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	213,885	2,580,165	△ 2,366,280
保証金	1,050,000	1,050,000	0
その他固定資産合計	1,263,885	3,630,165	△ 2,366,280
固定資産合計	177,433,786	178,421,690	△ 987,904
資 産 合 計	190,202,045	192,073,269	△ 1,871,224
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	6,997,419	3,732,728	3,264,691
前受金	1,145,000	0	1,145,000
預り金	714,127	655,802	58,325
未払住民税	0	70,000	△ 70,000
未払消費税等	1,027,600	387,800	639,800
流動負債合計	9,884,146	4,846,330	5,037,816
2. 固定負債			
退職給付引当金	6,154,860	4,791,525	1,363,335
固定負債合計	6,154,860	4,791,525	1,363,335
負債合計	16,039,006	9,637,855	6,401,151
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産	174,163,039	182,435,414	△ 8,272,375
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(70,015,041)	(70,000,000)	(15,041)
正味財産合計	174,163,039	182,435,414	△ 8,272,375
負債及び正味財産合計	190,202,045	192,073,269	△ 1,871,224

出席者数 201名

4) 専門医会

- ① 専門医会学術集會を1回開催した。
- ② 専門医会総会(定例1回)と幹事会を5回開催した。また、幹事会専用掲示板で、議論、情報交換等を行った。

5) 各種委員会の開催

- ① 編集委員会 6回
  - ② 評価・用語委員会 5回
  - ③ 教育委員会 5回
  - ④ 資格認定委員会 6回
  - ⑤ 施設認定委員会 3回(メール審議1回)
  - ⑥ 試験委員会 14回
- (筆記・口頭合同3回、筆記7回、口頭4回)

▶表 2

正味財産増減計算書

(平成24年 4月 1日から平成25年 3月 31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	118,204,000	118,200,000	4,000
正会員受取会費	116,004,000	118,200,000	△ 2,196,000
賛助会員受取会費	2,200,000	0	2,200,000
② 事業収益	173,874,669	114,258,948	59,615,721
学術集会事業収益	82,266,342	65,455,906	16,810,436
会誌等発行事業収益	10,596,632	10,370,252	226,380
専門医等認定事業収益	31,350,000	13,530,000	17,820,000
研修会事業収益	6,387,000	6,213,000	174,000
専門医会収益	16,824,695	14,330,190	2,494,505
受託研究事業収益	0	4,359,600	△ 4,359,600
50周年事業協賛収益	26,450,000	0	26,450,000
③ 基本財産運用益	242,708	418,605	△ 175,897
基本財産受取利息	224,659	399,999	△ 175,340
学術研究助成基金受取利息	18,049	18,606	△ 557
④ 受取補助金等	13,523,655	298,400	13,225,255
受取国庫補助金	13,225,000	0	13,225,000
受取民間助成金	298,655	298,400	255
⑤ 受取寄附金	1,890,000	2,276,000	△ 386,000
受取寄附金	1,890,000	2,276,000	△ 386,000
⑥ 雑収益	1,487,105	306,972	1,180,133
受取利息	9,423	11,722	△ 2,299
雑収益	1,477,682	295,250	1,182,432
経常収益計	309,222,137	235,758,925	73,463,212
(2) 経常費用			0
① 事業費	277,746,329	176,936,297	100,810,032
学術集会事業費	76,131,235	64,069,618	12,061,617
抄録集作成費	5,224,588	5,031,797	192,791
会誌発行費	41,215,156	33,756,139	7,459,017
リハニュース発行費	5,182,623	5,371,299	△ 188,676
各種委員会旅費・会場費	9,159,443	8,467,323	692,120
各種委員会経費	1,600,563	1,700,489	△ 99,926
専門医等認定事業費	14,974,999	12,187,912	2,787,087
実習研修事業費	1,171,363	1,311,282	△ 139,919
研修会事業費	6,678,200	6,731,279	△ 53,079
海外研修助成金	1,250,000	1,400,000	△ 150,000
優秀論文表彰金	400,000	400,000	0
リハ啓発活動事業費	1,891,481	2,312,487	△ 421,006
地方会事務局運営補助金	7,960,000	7,960,000	0
診療ガイドライン策定費	4,532,741	4,965,541	△ 432,800
専門医会経費	17,053,572	14,612,031	2,441,541
DVD作製費	2,299,500	2,299,500	0
受託事業費	0	4,359,600	△ 4,359,600
補助事業費	13,225,000	0	13,225,000
50周年事業活動費	27,141,383	0	27,141,383
給料手当	24,300,244	0	24,300,244
退職給付費用	913,434	0	913,434
福利厚生費	3,574,112	0	3,574,112
旅費交通費	783,056	0	783,056
ホーム・イン・維持管理費	535,997	0	535,997
通信運搬費	1,121,298	0	1,121,298
情報関連整備費	747,751	0	747,751
什器備品費	678,409	0	678,409
消耗品費	388,569	0	388,569
印刷製本費	940,587	0	940,587
光熱水料費	368,381	0	368,381
賃借料	3,713,636	0	3,713,636
租税公課	938,610	0	938,610
支払手数料	1,072,233	0	1,072,233
減価償却費	44,743	0	44,743
雑費	533,422	0	533,422

⑦ 診療ガイドライン委員会 37回

⑧ 社会保険等委員会 5回

⑨ 障害保健福祉委員会 4回

⑩ 関連機器委員会 2回

⑪ 関連専門職委員会 2回

⑫ 会則検討委員会 9回(メール審議8回)

⑬ 広報委員会 4回

⑭ 国際委員会 3回

⑮ データマネジメント委員会 2回

⑯ システム委員会 3回(ネット会議)

6) 特別委員会

① 50周年記念事業実行委員会

平成24年度は実行委員会を4回開催し、50周年関連事業リハビリテーション公開講座、50周年記念式典・祝賀会、記念講演会、シンポジウム関係、「リハビリテーションを考える日」プレスセ

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管理費	<b>39,748,183</b>	<b>85,202,966</b>	<b>△ 45,454,783</b>
給料手当	11,968,777	35,387,744	△ 23,418,967
退職給付費用	449,901	1,399,455	△ 949,554
福利厚生費	1,760,383	4,927,130	△ 3,166,747
代議員総会費	692,433	2,724,043	△ 2,031,610
理事会費	8,203,016	7,625,493	577,523
評議員会費	0	10,021,132	△ 10,021,132
旅費交通費	385,684	854,492	△ 468,808
顧問料	882,000	2,772,000	△ 1,890,000
ホームページ維持管理費	263,998	572,565	△ 308,567
通信運搬費	552,281	1,470,100	△ 917,819
情報関連整備費	368,295	1,189,341	△ 821,046
什器備品費	334,142	612,607	△ 278,465
消耗品費	191,385	386,552	△ 195,167
印刷製本費	463,274	1,150,297	△ 687,023
光熱水料費	181,442	508,291	△ 326,849
貸借料	1,829,104	5,542,740	△ 3,713,636
租税公課	104,290	460,400	△ 356,110
負担金	7,837,550	2,956,075	4,881,475
事務委託費	1,890,000	2,276,000	△ 386,000
50周年記念事業費	577,346	0	577,346
支払手数料	528,115	1,584,582	△ 1,056,467
減価償却費	22,037	66,780	△ 44,743
雑費	262,730	715,147	△ 452,417
経常費用計	<b>317,494,512</b>	<b>262,139,263</b>	<b>55,355,249</b>
当期経常増減額	<b>△ 8,272,375</b>	<b>△ 26,380,338</b>	<b>18,107,963</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 経常外費用			
経常外費用計	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
当期経常外増減額	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
当期一般正味財産増減額	<b>△ 8,272,375</b>	<b>△ 26,380,338</b>	<b>18,107,963</b>
一般正味財産期首残高	<b>182,435,414</b>	<b>208,815,752</b>	<b>△ 26,380,338</b>
一般正味財産期末残高	<b>174,163,039</b>	<b>182,435,414</b>	<b>△ 8,272,375</b>
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
指定正味財産期首残高	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
指定正味財産期末残高	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
III. 正味財産期末残高	<b>174,163,039</b>	<b>182,435,414</b>	<b>△ 8,272,375</b>

ミナー開催関係、事業の具体化に向け検討を行った。

② 専門医制度対策委員会

平成 24 年度 2 回開催し、専門医制度における研修プログラム（研修施設）整備指針に基づく対応及び本医学会の専門医制度に関する検討を行った。

③ 刊行物の在り方検討委員会

平成 24 年度 1 回開催し、本医学会の全ての刊行物の今後の取り扱いについて検討を行った。

5. 辞令発送について

理事長名で辞令発送

各種委員会委員（特別委員等を含む） 219 名

6. 後援、協賛等依頼

1) リハビリテーション・ケア合同研究大会

（日本リハビリテーション病院・施設協会，全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会，全国地域リハビリテーション研究会，全国訪問リハビリテーション研究会，全国老人デイ・ケア連絡協議会，全国地域リハビリテーション支援事業連絡

協議会）

後援

2) ヒューマンインターフェースシンポジウム 2012

（ヒューマンインターフェース学会） 協賛

3) 第 39 回国際福祉機器展 H.C.R.2012

（社会福祉法人全国社会福祉協議会，一般財団法人保健福祉広報協会） 協賛

4) 平成 24 年度義肢装具等適合判定医師研修会（第 70 回）

（厚生労働省） 後援

5) 義肢装具 SIG 第 8 回講習会

（日本リハビリテーション工学協会義肢装具 SIG） 協賛

6) 平成 24 年度運動療法機能訓練技能講習会

（公益社団法人全国病院理学療法協会） 後援

7) 第 38 回臨床歩行分析研究会定例会

（臨床歩行分析研究会） 協賛

8) 第 27 回リハ工学カンファレンス

（一般社団法人日本リハビリテーション工学協会）

9) 第 16 回世界作業療法士連盟世界大会 第 48 回

▶表 3

正味財産増減計画書 (内容表)

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	内部取引消去	合 計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	59,102,000	59,102,000		118,204,000
正会員受取会費	58,002,000	58,002,000		116,004,000
賛助会員受取会費	1,100,000	1,100,000		2,200,000
② 事業収益	173,874,669	0		173,874,669
学術集會事業収益	82,266,342			82,266,342
会誌等発行事業収益	10,596,632			10,596,632
専門医等認定事業収益	31,350,000			31,350,000
研修会事業収益	6,387,000			6,387,000
専門医会収益	16,824,695			16,824,695
50周年事業協賛収益	26,450,000			26,450,000
③ 基本財産運用益	18,049	224,659		242,708
基本財産受取利息		224,659		224,659
学術研究助成基金受取利息	18,049			18,049
④ 受取補助金等	13,523,655	0		13,523,655
受取国庫補助金	13,225,000			13,225,000
会誌発行補助金	298,655			298,655
⑤ 受取寄附金	1,890,000	0		1,890,000
受取寄附金	1,890,000			1,890,000
⑥ 雑収益	1,477,682	9,423		1,487,105
受取利息		9,423		9,423
雑収益	1,477,682			1,477,682
経常収益計	249,886,055	59,336,082		309,222,137
(2) 経常費用				
① 事業費	277,746,329			277,746,329
学術集會事業費	76,131,235			76,131,235
抄録集作成費	5,224,588			5,224,588
会誌発行費	41,215,156			41,215,156
リハニュース発行費	5,182,623			5,182,623
各種委員会旅費(会場費)	9,159,443			9,159,443
各種委員会経費	1,600,563			1,600,563
専門医等認定事業費	14,974,999			14,974,999
実習研修事業費	1,171,363			1,171,363
研修会事業費	6,678,200			6,678,200
海外研修助成金	1,250,000			1,250,000
優秀論文表彰金	400,000			400,000
リハ啓発活動事業費	1,891,481			1,891,481
地方会事務局運営補助金	7,960,000			7,960,000
診療「リハ」策定費	4,532,741			4,532,741
専門医会経費	17,053,572			17,053,572
DVD作製費	2,299,500			2,299,500
補助事業費	13,225,000			13,225,000
50周年事業活動費	27,141,383			27,141,383
給料手当	24,300,244			24,300,244
退職給付費用	913,434			913,434
福利厚生費	3,574,112			3,574,112
旅費交通費	783,056			783,056
ホームページ維持管理費	535,997			535,997
通信運搬費	1,121,298			1,121,298
情報関連整備費	747,751			747,751
什器備品費	678,499			678,499
消耗品費	388,569			388,569
印刷製本費	940,587			940,587
光熱水料費	368,381			368,381
賃借料	3,713,636			3,713,636
租税公課	938,610			938,610
支払手数料	1,072,233			1,072,233
減価償却費	44,743			44,743
雑費	533,422			533,422

- |                                    |    |                           |    |
|------------------------------------|----|---------------------------|----|
| 日本作業療法学会 (WFOT 2014)               |    | (全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会)   |    |
| (一般社団法人日本作業療法士協会)                  | 後援 |                           | 後援 |
| 10) きょうされん第35回全国大会 in ふくい          |    | 14) 第35回総合リハビリテーション研究大会   |    |
| (きょうされん)                           | 後援 | (公益財団法人日本障害者リハビリテーション協    |    |
| 11) SIG 姿勢保持講習会 2012               |    | 会)                        | 後援 |
| (日本リハビリテーション工学協会 SIG「姿勢保           |    | 15) 障害者医療問題全国ネットワーク第10回シン |    |
| 持」)                                | 協賛 | ポジウム                      |    |
| 12) HOSPEX JAPAN 2012 (第41回日本医療福祉設 |    | (障害者医療問題全国ネットワーク)         | 後援 |
| 備学会併設展示会)                          |    | 16) シンポジウム「モバイル13」        |    |
| (一般社団法人日本医療福祉設備協会, 一般社団            |    | (特定非営利活動法人モバイル学会)         | 後援 |
| 法人日本能率協会)                          | 協賛 | 17) 日本人間工学会関東支部第42回大会     |    |
| 13) 平成24年度医師研修会                    |    | (一般社団法人日本人間工学会関東支部)       | 協賛 |

科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	内部取引消去	合 計
② 管理費		<b>39,748,183</b>		<b>39,748,183</b>
給料手当		11,968,777		11,968,777
退職給付費用		449,901		449,901
福利厚生費		1,760,383		1,760,383
代議員総会費		692,433		692,433
理事会費		8,203,016		8,203,016
旅費交通費		385,684		385,684
顧問料		882,000		882,000
ホームページ維持管理費		263,998		263,998
通信運搬費		552,281		552,281
情報関連整備費		368,295		368,295
什器備品費		334,142		334,142
消耗品費		191,385		191,385
印刷製本費		463,274		463,274
光熱水料費		181,442		181,442
賃借料		1,829,104		1,829,104
租税公課		104,290		104,290
負担金		7,837,550		7,837,550
事務委託費		1,890,000		1,890,000
50周年記念事業費		577,346		577,346
支払手数料		528,115		528,115
減価償却費		22,037		22,037
雑費		262,730		262,730
経常費用計	<b>277,746,329</b>	<b>39,748,183</b>		<b>317,494,512</b>
当期経常増減額	<b>△ 27,860,274</b>	<b>19,587,899</b>		<b>△ 8,272,375</b>
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>0</b>
(2) 経常外費用				
経常外費用計	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>0</b>
当期経常外増減額	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>0</b>
当期一般正味財産増減額	<b>△ 27,860,274</b>	<b>19,587,899</b>		<b>△ 8,272,375</b>
一般正味財産期首残高				<b>182,435,414</b>
一般正味財産期末残高				<b>174,163,039</b>
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				<b>0</b>
指定正味財産期首残高				<b>0</b>
指定正味財産期末残高				<b>0</b>
III. 正味財産期末残高				<b>174,163,039</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 会計基準  
「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (2) 引当金の計上基準について  
退職給付引当金……職員が全員退職した場合の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理について  
消費税等の会計処理は、税込方式による。
- (4) 貸借対照表内訳表について  
当社は、公益事業以外の事業を行っていないため、貸借対照表内訳表は作成しておりません。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
学術研究助成資産	60,000,000	15,041	0	60,015,041
学術集会事業積立資産	10,000,000	0	0	10,000,000
退職給付引当資産	4,791,525	1,363,335	0	6,154,860
小計	74,791,525	1,378,376	0	76,169,901
合計	174,791,525	1,378,376	0	176,169,901

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち、指定正味財産からの充当額)	(うち、一般正味財産からの充当額)	(うち、負債に対応する金額)
基本財産				
定期預金	100,000,000	(0)	(100,000,000)	—
小計	100,000,000	(0)	(100,000,000)	—
特定資産				
学術研究助成資産	60,015,041	(0)	(60,015,041)	—
学術集会事業積立資産	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
退職給付引当資産	6,154,860	(0)	(0)	(6,154,860)
小計	76,169,901	(0)	(70,015,041)	(6,154,860)
合計	176,169,901	(0)	(170,015,041)	(6,154,860)

- 18) 第2回がんのリハビリテーション懇話会  
(がんのリハビリテーショングランドビジョン作成ワーキンググループ厚生労働科学研究費補助金(第3次がん総合戦略事業)がんのリハビリテーションガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究班) 後援
- 19) 2012(平成24)年度てんかんを正しく理解する月間(てんかん月間2012)  
(社団法人日本てんかん協会) 協賛
- 20) 第62回日本理学療法学会  
(公益社団法人全国病院理学療法協会) 後援
- 21) 第47回日本作業療法学会  
(一般社団法人日本作業療法士協会) 後援
- 22) 第2回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 松本  
(一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会) 後援
- 23) 現役から高齢世代の健康維持・回復を目指して第3回「予防医療・介護・リハビリテーションに関わる科学技術の高度事業化」発表交流会  
(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻, 京都市, (財)京都高度技術研究所京都バイオ産業技術フォーラム) 後援
- 24) 第48回日本理学療法学会学術大会  
(公益社団法人日本理学療法協会) 後援
- 25) 第23回バイオメカニズム・シンポジウム, 第34回バイオメカニズム学術講演会  
(バイオメカニズム学会) 協賛
- 26) 日本人間工学会第54回大会  
(一般社団法人日本人間工学会) 協賛
- 27) 公益社団法人日本リウマチ友の会全国大会(第53回)  
(公益社団法人日本リウマチ友の会) 後援
- 28) 回復期リハビリテーション病棟協会平成25年度医師研修会Aコース  
(一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会) 後援

## 7. 会誌の発行

会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」第49巻第4号～第12号, 特別号(抄録集), 第50巻第1号～第3号計13冊を発行した。

## 8. リハニュースの発行

年4回発行した。(平成24年4月から第53号～第

56号まで)

## 9. ホームページの管理・運営

- 1) 新規/修正あわせて127件に対応した(2013.2.25現在)。新規/修正は年々増加している。
- 2) 見やすいホームページの改変を計画しており, 次年度の完成を予定している。
- 3) 教育用のe-learningなどに活用するような動画を載せることができるスマホやタブレットPC用のホームページを企画中であり, 次年度の完成を予定している。

## 10. 教育及び研修

- 1) 卒後実習研修会
  - ・脊損尿路管理研修会  
期日:平成24年12月1日～2日  
会場:海南海市民病院  
受講者数:16名
  - ・義手・義足適合判定医師研修会アドバンスト・コース  
期日:平成24年9月2日～3日・10月15日  
会場:岡山国際交流センター・岡山労働基準監督署  
受講者数:10名
  - ・小児のリハビリテーション実習研修会  
期日:平成24年9月6日～8日  
会場:佐賀整肢学園こども発達医療センター  
受講者数:32名
  - ・臨床筋電図・電気診断学入門講習会  
期日:平成24年10月1日～2日  
会場:慶應義塾大学病院  
受講者数:31名
  - ・職業リハビリテーション研修会  
期日:平成24年9月30日～10月1日  
会場:岡山国際交流センター・吉備高原医療リハビリテーションセンター  
受講者数:7名
  - ・(平成24年度第1回)嚥下障害実習研修会  
期日:平成24年10月6日～7日  
会場:浜松市リハビリテーション病院・聖隷三方原病院  
受講者数:28名
  - ・福祉・地域リハビリテーション実習研修会  
期日:平成25年2月15日～16日  
会場:横浜市総合リハビリテーションセンター

▶表 4

## 財 産 目 録

(平成25年 3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
現 金 預 金 未 収 金 前 払 金 前 払 費 用	現金手許残高		運転資金として	93,504
	普通預金	三菱東京UFJ銀行池袋東口支店 三井住友銀行千川支店	運転資金として	2,129,848 96,875
	通常貯金	東京/テ/信用金庫神楽坂支店	運転資金として	2,688,279 319,526
	ゆうちょ銀行 郵便振替口座		運転資金として	6,578,188
	ゆうちょ銀行			
	(株)医学映像センター		DVD著作権料	744,345
	(有)ニシダ印刷製本他		テキスト印刷代他	95,029
さくらインターネット(株)他		レンタルサーバー利用料他	22,665	
<b>流動資産合計</b>				<b>12,768,259</b>
<b>(固定資産)</b>				
<b>基本財産</b>				
定期預金	三菱UFJ信託銀行池袋支店	管理運営用財産であり、運用益を管理運営費の財源としている		100,000,000
<b>特定資産</b>				
学術研究助成積立資産	定期預金 三菱東京UFJ銀行池袋東口支店	公益目的事業の財源として管理・運用している。		60,015,041
学術研究助成積立資産	定期預金 三井住友銀行千川支店	公益目的事業の財源として管理・運用している。		10,000,000
退職給付引当資産	普通預金 東京/テ/信用金庫神楽坂支店	職員に対する退職金の支払いに備えたもの		6,154,860
<b>その他固定資産</b>				
ソフトウェア	DVD	公益目的事業の用に供している。		191,625
	会計ソフト	共用財産であり、実態に応じ公益目的事業に67%、管理運営業務に33%使用している。		22,260
保証金	(株)神楽坂ビル	共用財産であり、実態に応じ公益目的事業に67%、管理運営業務に33%使用している。		1,050,000
<b>固定資産合計</b>				<b>177,433,786</b>
<b>資産合計</b>				<b>190,202,045</b>
<b>(流動負債)</b>				
未払金	(一財)学会誌刊行センター他	会誌発行費他		6,997,419
前受金	会員他 医歯薬出版(株)他	研修会参加費 協賛金		645,000 500,000
預り金	四谷税務署他	職員他に対する源泉所得税他		714,127
未払消費税等	四谷税務署	消費税及び地方消費税		1,027,600
<b>流動負債合計</b>				<b>9,884,146</b>
<b>(固定負債)</b>				
退職給付引当金	職員	職員に対する退職金の支払いに備えたもの		6,154,860
<b>固定負債合計</b>				<b>6,154,860</b>
<b>負債合計</b>				<b>16,039,006</b>
<b>正味財産</b>				<b>174,163,039</b>

## 附 属 明 細 書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、省略する。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,791,525	1,363,335	0		6,154,860

▶表 5

収 支 計 算 書

(平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日現在)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
<b>I. 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	<b>122,000,000</b>	<b>118,204,000</b>	<b>3,796,000</b>	
正会員会費収入	117,000,000	116,004,000	996,000	
賛助会員会費収入	5,000,000	2,200,000	2,800,000	
② 事業収入	<b>128,083,000</b>	<b>173,874,669</b>	<b>△ 45,791,669</b>	
学術集会事業収入	76,153,000	82,266,342	△ 6,113,342	
参加費収入	36,300,000	48,799,000	△ 12,499,000	
抄録集販売収入	300,000	1,472,291	△ 1,172,291	
展示収入	12,600,000	13,311,051	△ 711,051	
広告料収入	2,100,000	2,121,000	△ 21,000	
協賛金等収入	23,935,000	16,005,000	7,930,000	
共同演者申込料収入	918,000	558,000	360,000	
会誌等発行事業収入	12,470,000	10,596,632	1,873,368	
別刷収入	300,000	1,098,630	△ 798,630	
広告料収入	4,000,000	1,856,400	2,143,600	
会誌販売収入	6,400,000	5,853,655	546,345	
著作権料収入	1,770,000	1,787,947	△ 17,947	
専門医等認定事業収入	24,000,000	31,350,000	△ 7,350,000	
審査料収入	6,000,000	6,330,000	△ 330,000	
登録料収入	3,000,000	3,000,000	0	
更新料収入	15,000,000	22,020,000	△ 7,020,000	
研修会事業収入	7,700,000	6,387,000	1,313,000	
専門医会収入	7,760,000	16,824,695	△ 9,064,695	
専門医会学術集会収入	7,760,000	16,824,695	△ 9,064,695	
50周年協賛事業収入	0	26,450,000	△ 26,450,000	
③ 基本財産運用収入	<b>420,000</b>	<b>242,708</b>	<b>177,292</b>	
基本財産利息収入	210,000	224,659	△ 14,659	
学術研究助成基金利息収入	210,000	18,049	191,951	
④ 補助金収入	<b>0</b>	<b>13,523,655</b>	<b>△ 13,523,655</b>	
国庫補助金収入	0	13,225,000	△ 13,225,000	
民間助成金収入	0	298,655	△ 298,655	
⑤ 寄附金収入	<b>3,900,000</b>	<b>1,890,000</b>	<b>2,010,000</b>	
寄附金収入	3,900,000	1,890,000	2,010,000	
⑥ 雑収入	<b>430,000</b>	<b>1,487,105</b>	<b>△ 1,057,105</b>	
受取利息収入	30,000	9,423	20,577	
雑収入	400,000	1,477,682	△ 1,077,682	
事業活動収入計	<b>254,833,000</b>	<b>309,222,137</b>	<b>△ 54,389,137</b>	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	<b>192,335,000</b>	<b>234,792,347</b>	<b>△ 42,457,347</b>	
学術集会事業費支出	75,235,000	76,131,235	△ 896,235	
会場費支出	21,000,000	16,539,121	4,460,879	
運営費支出	39,590,000	39,085,490	504,510	
印刷・通信費支出	8,000,000	14,277,734	△ 6,277,734	
会議費等支出	1,325,000	3,708,890	△ 2,383,890	
事務局経費支出	5,320,000	2,520,000	2,800,000	
抄録集作成費支出	5,000,000	5,224,588	△ 224,588	
会誌発行費支出	36,000,000	41,215,156	△ 5,215,156	
リハニュース発行費支出	5,200,000	5,182,623	17,377	
各種委員会旅費・会場費支出	13,000,000	9,159,443	3,840,557	
各種委員会経費支出	9,000,000	1,600,563	7,399,437	
専門医等認定事業支出	10,250,000	14,974,999	△ 4,724,999	
実習研修事業支出	1,800,000	1,171,363	628,637	
研修会事業支出	9,600,000	6,678,200	2,921,800	
海外研修助成金支出	3,200,000	1,250,000	1,950,000	
国際会議出席旅費補助金支出	500,000	0	500,000	
優秀論文表彰金支出	400,000	400,000	0	
リハ啓発活動事業支出	1,400,000	1,891,481	△ 491,481	
地方会事務局運営補助金支出	7,960,000	7,960,000	0	
診療科「心」策定支出	2,400,000	4,532,741	△ 2,132,741	
専門医会経費支出	11,390,000	17,053,572	△ 5,663,572	
専門医会学術集会支出	7,760,000	13,066,482	△ 5,306,482	
専門医会支出	3,630,000	3,987,090	△ 357,090	
補助事業費支出	0	13,225,000	△ 13,225,000	
50周年事業活動費支出	0	27,141,383	△ 27,141,383	

受講者数：21名

- ・(平成24年度第2回) 嚥下障害実習研修会  
 期日：平成25年2月16日～17日  
 会場：浜松市リハビリテーション病院・聖隷三方原病院

受講者数：28名

- ・動作解析・運動学実習研修会  
 期日：平成25年3月21日～23日  
 会場：藤田保健衛生大学

受講者数：11名

- 2) 学術集会研修会  
 期日：平成24年5月31日～6月2日  
 会場：福岡国際会議場  
 受講者数：1747名

- 3) 専門医会学術集会研修会  
 期日：平成24年11月17日～18日  
 会場：名古屋国際会議場  
 受講者数：757名

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
② 管理費支出	<b>79,346,000</b>	<b>78,972,550</b>	<b>373,450</b>	
給料手当支出	35,000,000	36,269,021	△ 1,269,021	
福利厚生費支出	4,500,000	5,334,495	△ 834,495	
代議員総会費支出	1,200,000	0	1,200,000	
理事会費支出	6,300,000	8,203,016	△ 1,903,016	
代議員総会費	0	692,433	△ 692,433	
旅費交通費支出	800,000	1,168,740	△ 368,740	
顧問料支出	2,790,000	882,000	1,908,000	
ホームページ維持管理費支出	2,260,000	799,995	1,460,005	
通信運搬費支出	1,500,000	1,673,579	△ 173,579	
情報関連整備費支出	1,300,000	1,116,046	183,954	
什器備品費支出	1,200,000	1,012,551	187,449	
消耗品費支出	350,000	579,954	△ 229,954	
印刷製本費支出	1,500,000	1,403,861	96,139	
光熱水料費支出	660,000	549,823	110,177	
賃借料支出	5,270,000	5,542,740	△ 272,740	
租税公課支出	500,000	1,042,900	△ 542,900	
負担金支出	7,066,000	7,837,550	△ 771,550	
50周年記念事業費支出	4,900,000	577,346	4,322,654	
事務委託費支出	0	1,890,000	△ 1,890,000	
支払手数料支出	1,650,000	1,600,348	49,652	
雑支出	600,000	796,152	△ 196,152	
事業活動支出計	<b>271,681,000</b>	<b>313,764,897</b>	<b>△ 42,083,897</b>	
事業活動収支差額	<b>△ 16,848,000</b>	<b>△ 4,542,760</b>	<b>△ 12,305,240</b>	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	<b>10,000,000</b>	<b>0</b>	<b>10,000,000</b>	
学術研究助成資産取崩収入	10,000,000	0	10,000,000	
② その他収入	<b>0</b>	<b>3,557,971</b>	<b>△ 3,557,971</b>	
前払金収入	0	3,557,971	△ 3,557,971	
投資活動収入計	<b>10,000,000</b>	<b>3,557,971</b>	<b>6,442,029</b>	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	<b>1,000,000</b>	<b>1,378,376</b>	<b>△ 378,376</b>	
学術研究助成資産取得支出		15,041	△ 15,041	
退職給付引当資産取得支出	1,000,000	1,363,335	△ 363,335	
投資活動支出計	<b>1,000,000</b>	<b>1,378,376</b>	<b>△ 378,376</b>	
投資活動収支差額	<b>9,000,000</b>	<b>2,179,595</b>	<b>6,820,405</b>	
III 予備費支出				
当期収支差額	500,000	0	500,000	
前期繰越収支差額	<b>△ 8,348,000</b>	<b>△ 2,363,165</b>	<b>△ 5,984,835</b>	
前期繰越収支差額	<b>7,796,642</b>	<b>5,129,584</b>	<b>2,667,058</b>	
次期繰越収支差額	<b>△ 551,358</b>	<b>2,766,419</b>	<b>△ 3,317,777</b>	

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には現金・郵便貯金・普通預金・未収金・仮払金・預り金・前受金、未払金、未払住民税、未払消費税等を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	118,821	93,504
郵 便 貯 金	2,635,642	6,897,714
普 通 預 金	6,252,196	4,915,002
未 収 金	969,255	744,345
仮 払 金	0	0
合 計	9,975,914	12,650,565
預 り 金	655,802	714,127
未 払 金	3,732,728	6,997,419
前 受 金	0	1,145,000
未 払 住 民 税	70,000	0
未 払 消 費 税 等	387,800	1,027,600
合 計	4,846,330	9,884,146
次期繰越収支差額	5,129,584	2,766,419

### 3. 負担金内訳

日本障害者協議会、専門医制評価・認定制機構、日本障害者リハビリテーション協会、内保連、外保連、理学療法士等講習会、ISPRM、運動器の10年・日本協会  
日本医療安全調査機構、日本脳科学関連学会連合、日本リハビリテーション・データベース協議会  
東日本大震災リハビリテーション支援10団体

## 監 査 報 告 書

平成 2 5 年 4 月 2 4 日

公益社団法人  
日本リハビリテーション医学会  
理事長 水 間 正 澄 殿

公益社団法人  
日本リハビリテーション医学会  
監 事 住 田 幹 男 

公益社団法人  
日本リハビリテーション医学会  
監 事 水 村 彰 男 

公益社団法人  
日本リハビリテーション医学会  
監 事 久 々 実 俊 一 

私たち監事は、平成 2 4 年 4 月 1 日から平成 2 5 年 3 月 3 1 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

4) 病態別実践リハビリテーション医学研修会

・「骨関節障害」

期日：平成 24 年 9 月 29 日  
会場：品川フロントビル会議室  
受講者数：97 名

・「神経系障害」

期日：平成 24 年 10 月 27 日  
会場：品川フロントビル会議室  
受講者数：110 名

・「内部障害」

期日：平成 25 年 2 月 16 日  
会場：品川フロントビル会議室

受講者数：103 名

5) 生涯教育研修会

北海道ブロック  
・期日：平成 24 年 4 月 21 日  
会場：札幌医科大学記念ホール  
受講者数：47 名

・期日：平成 24 年 9 月 22 日  
会場：北海道大学医学部学友会館フラテホール  
受講者数：33 名

・期日：平成 25 年 3 月 2 日  
会場：北海道大学医学部学友会館フラテホール  
受講者数：32 名

#### 東北ブロック

- ・期日：平成 24 年 9 月 30 日  
会場：青森市民ホール 1 階 第 1 会議室  
受講者数：43 名
- ・期日：平成 24 年 10 月 20 日  
会場：山形市保健センター（霞城セントラル 3F）  
受講者数：56 名
- ・期日：平成 25 年 3 月 9 日  
会場：仙台市シルバーセンター（7 階）第一研修室  
受講者数：71 名

#### 関東ブロック

- ・期日：平成 24 年 9 月 8 日  
会場：東京慈恵会医科大学 大学前棟 2 階 中央講堂  
受講者数：164 名
- ・期日：平成 24 年 10 月 6 日  
会場：新潟大学医学部有任記念館  
受講者数：23 名
- ・期日：平成 24 年 12 月 8 日  
会場：慶應義塾大学三田キャンパス西校舎  
受講者数：144 名
- ・期日：平成 25 年 2 月 2 日  
会場：新潟ユニゾンプラザ  
受講者数：46 名
- ・期日：平成 25 年 2 月 16 日  
会場：前橋テルサ  
受講者数：46 名

#### 北陸ブロック

- ・期日：平成 24 年 9 月 8 日  
会場：金沢大学病院十全講堂  
受講者数：28 名
- ・期日：平成 25 年 3 月 9 日  
会場：ホテル金沢  
受講者数：40 名

#### 中部・東海ブロック

- ・期日：平成 24 年 8 月 25 日  
会場：大正製薬株式会社 名古屋支店  
受講者数：92 名
- ・期日：平成 24 年 9 月 15 日  
会場：ニッセイ静岡駅前ビル  
受講者数：41 名

- ・期日：平成 25 年 1 月 19 日  
会場：江崎ホール  
受講者数：34 名
- ・期日：平成 25 年 2 月 2 日  
会場：大正製薬株式会社 名古屋支店  
受講者数：78 名

#### 近畿ブロック

- ・期日：平成 24 年 4 月 14 日  
会場：府中病院 西館地下 1 階 セミナーホール  
受講者数：34 名
- ・期日：平成 24 年 7 月 7 日  
会場：京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻杉浦地域医療センター  
受講者数：70 名
- ・期日：平成 24 年 9 月 15 日  
会場：大津市民会館  
受講者数：85 名
- ・期日：平成 24 年 10 月 13 日  
会場：大阪医科大学 臨床第一講堂  
受講者数：83 名
- ・期日：平成 24 年 11 月 17 日  
会場：兵庫県民会館  
受講者数：67 名
- ・期日：平成 24 年 11 月 25 日  
会場：京都府立医科大学附属図書館ホール  
受講者数：45 名
- ・期日：平成 25 年 3 月 9 日  
会場：生田文化会館  
受講者数：94 名

#### 中国・四国ブロック

- ・期日：平成 24 年 6 月 9 日  
会場：高新文化ホール（7 階）  
受講者数：50 名
- ・期日：平成 24 年 7 月 1 日  
会場：アルファあなぶきホール（香川県県民ホール）  
受講者数：121 名
- ・期日：平成 24 年 12 月 2 日  
会場：広島大学病院第 4・5 講義室  
受講者数：85 名
- ・期日：平成 24 年 12 月 15 日  
会場：高知共済会館 3F さくら  
受講者数：32 名

九州ブロック

- ・期日：平成24年9月9日  
会場：鹿児島大学医学部鶴陵会館  
受講者数：127名
- ・期日：平成25年2月24日  
会場：久留米大学筑水会館 大ホール  
受講者数：156名

#### 11. 専門医，認定臨床医の認定

1) 平成24年度専門医認定者数	96名
平成25年3月末現在	1,942名
2) 平成24年度認定臨床医認定者数	64名
平成25年3月末現在	3,429名

#### 12. 指導責任者の認定

平成24年度指導責任者認定者数	52名
平成25年3月末現在	982名

#### 13. 研修施設の認定

平成24年度研修施設認定数	42施設
平成25年3月末現在	539施設

#### 14. 学術研究助成

- ①本学会誌に掲載された論文のうち優秀な論文を表彰した。
- ②若手研究者への国際学術交流の一環として海外研修助成を行った。
- ③専門医会研究補助金対象者に補助金を交付し助成支援を行った。

#### 15. 市民公開講座の開催

平成24年度市民公開講座を4月14日に名古屋国際会議場（中部・東海地区）で開催し，広くリハビリテーション医学・医療の啓発に努めた。なお，専門医会市民公開講座（50周年記念事業専門医会企画）を9月30日パシフィコ横浜で開催した。

## II. 平成25年度事業計画案及び収支予算案について

平成25年度事業計画案について，はじめに，事業方針について水間理事長から，引き続き庶務担当の才藤副理事長から説明が行われ，原案どおり承認された。

平成25年度収支予算案について，財務担当の出江副理事長から説明が行われ，原案どおり承認された。（表7）

## 平成25年度 事業計画

（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

### 【事業方針】

#### 1. 学術活動の推進

- ①第50回学術集会を開催する。
- ②専門医会学術集会を開催する。
- ③地方会学術集会の開催を支援する。
- ④学会誌を刊行する。

#### 2. 専門医制度改革への対応

- ①専門医制度対策委員会の活動を推進する。
- ②専門医・認定臨床医育成のための教育を継続的に検討する。

#### 3. リハビリテーション医学教育の充実

- ①卒前教育の最新状況を把握し，専門医制度基本領域にふさわしい卒前教育内容を吟味する。
- ②卒前教育に必要な講座設置のあり方を提言し，関係機関に働きかける。
- ③専門医制度基本領域にふさわしい研修医の研修内容を吟味し，関係機関に提案する。
- ④医学生，研修医へのセミナー実施と広報の充実を図る。
- ⑤一般医家に対するリハビリテーション医学啓発を推進する。
- ⑥関連専門職教育推進を支援する。

#### 4. 調査・研究事業の推進

- ①診療ガイドラインを計画的・系統的・持続的に策定，改訂する。
- ②データマネジメントシステムを合理的に整備する。
- ③競争的資金を導入し，多施設共同研究を推進する。

#### 5. 社会保障制度改革への対応と提言

- ①関連団体との連携体制を再構築して情報交換を強化する。
- ②制度体系について中期的展望に立った提言を行う。
- ③2014年診療報酬改定に向けて要望項目を整理，提出する。
- ④時代に即応した医療福祉システムを展望し充実案を提案する。

#### 6. 社会への貢献

- ①リハビリテーション医療の充実・普及を図る。
- ②障害者の社会参加を促進する。

- ③市民啓発事業を実施する。
- ④脳卒中対策基本法の成立に向けた活動を継続する。
- ⑤他学協会と協力して大災害への支援体制作りを行う。

## 7. 国際化の推進

- ①各国研究者間の交流を促進する。
- ②アジア地域との連携と交流を促進する。
- ③国際学会への対応を強化する。
- ④国際学会招致の準備を行う。

## 8. 学会組織の見直しと充実

- ①財政基盤を見直し強化する。
- ②委員会機能を整備・強化する。
- ③危機管理体制を整備する。
- ④事務局機能を見直す。
- ⑤出版物発行の在り方について総合的に見直す。
- ⑥専門医会の在り方を見直す。
- ⑦地方会活動を支援する。

## 9. 50周年記念事業の実行

- ①設立50周年記念式典を行う。
- ②学会の活動性の向上，社会啓発，国際化の骨子とした記念事業を継続する。
- ③リハビリテーション医学白書・記念誌を出版する。

## 10. その他

- ①本医学会の目的に沿った事業を行う。

## 【事業計画】

### 1. 学術集会の開催

- 1) 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会を，平成25年6月13日，14日，15日の3日間，東京国際フォーラムに於いて開催する。
- 2) 第8回専門医会学術集会を，平成25年11月9日，10日の2日間，札幌市教育文化会館に於いて開催する。

### 2. 諸会議

- 1) 代議員総会 1回
- 2) 理事会
- 3) 倫理委員会  
委員会所管事例の検討
- 4) 専門医会
  - ① 専門医会総会の開催
  - ② 専門医会学術集会の開催

- ③ 年次学術集会における専門医企画
- ④ RJN 活動
- ⑤ SIG 活動
- ⑥ WG 活動
- ⑦ 専門医間の交流促進
- ⑧ 専門医会実技研修支援
- ⑨ 学会データベースを利用した研究推進
- ⑩ 専門医会研究補助金

### 5) 各種委員会

編集委員会他15委員会

#### (1) 編集委員会

- ①学術集会での発表内容の向上，卒前・卒後教育の充実，エビデンス構築の基盤整備等に寄与すべく，質の高い学会誌を発行する。
- ②学会の広報活動に寄与すべく，各種情報を学会誌に掲載するとともに学会誌の電子化・国際化を一層進める。

#### (2) 評価・用語委員会

- ①改訂第8版用語集編纂に向けたWeb版リハビリテーション医学用語事典の運用と内容の充実
- ②50周年記念事業に向けたWeb版リハビリテーション医学用語事典の一般向け解説の公開
- ③評価法調査のまとめ
- ④委員会としての広報の充実
- ⑤他委員会との連携の強化

#### (3) 教育委員会

<育成>

- ①卒前教育カリキュラムと初期臨床研修
- ②カリキュラムの変更に伴う研修手帳の印刷
- ③新専門医制度に向けての研修カリキュラムと各研修施設研修プログラムの検討
- ④全国の医学部におけるリハ医学教育体制の調査  
<生涯教育>
  - ①生涯教育研修会
  - ②実習研修会
  - ③病態別実践リハビリテーション研修会
  - ④一般医家リハビリテーション研修会（非会員医師対象の基礎講座）
  - ⑤専門医受験支援講習会
  - ⑥指導医研修会
  - ⑦医療倫理などの専門医受験，更新講習会

#### (4) 資格認定委員会

- ①専門医の認定及び更新に関すること

▶表 7

収支予算書（事業別区分経理の内訳表）

（平成25年4月1日から平成26年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	60,200,000	60,200,000	0	120,400,000
正会員受取会費	59,100,000	59,100,000		118,200,000
賛助会員受取会費	1,100,000	1,100,000		2,200,000
事業収益	156,234,000	0	0	156,234,000
学術集會事業収益	99,766,000			99,766,000
50周年事業収益	10,000,000			10,000,000
会誌等発行事業収益	11,680,000			11,680,000
専門医等認定事業収益	18,320,000			18,320,000
研修会事業収益	4,170,000			4,170,000
専門医会収益	12,298,000			12,298,000
基本財産等運用収益	18,000	400,000	0	418,000
基本財産受取利息	18,000	400,000		400,000
学術研究助成基金受取利息	18,000			18,000
雑収益	290,000	10,000	0	300,000
受取利息		10,000		10,000
雑収益	290,000			290,000
<b>経常収益計</b>	<b>216,742,000</b>	<b>60,610,000</b>	<b>0</b>	<b>277,352,000</b>
(2) 経常費用				
事業費	260,606,000		0	260,606,000
学術集會事業費	99,766,000			99,766,000
抄録集作成費	5,000,000			5,000,000
会誌発行費(含償却費)	36,192,000			36,192,000
リハニュース発行費	1,350,000			1,350,000
各種委員会旅費・会場費	11,201,000			11,201,000
各種委員会経費	6,880,000			6,880,000
専門医等認定事業	13,261,000			13,261,000
実習研修事業費	2,000,000			2,000,000
研修会事業費	6,488,000			6,488,000
海外研修助成金	3,400,000			3,400,000
優秀論文表彰金	400,000			400,000
リハ啓発活動事業費	1,500,000			1,500,000
地方会事務局運営補助金	7,960,000			7,960,000
診療カドライン策定	3,634,000			3,634,000
専門医会経費	9,978,000			9,978,000
50周年事業費	14,056,000			14,056,000
給料手当	23,455,000			23,455,000
福利厚生費	3,015,000			3,015,000
退職給付費用	670,000			670,000
旅費交通費	67,000			67,000
ホームページ維持管理費	1,492,000			1,492,000
通信運搬費	1,005,000			1,005,000
情報関連整備費	556,000			556,000
什器備品費	201,000			201,000
消耗品費	235,000			235,000
印刷製本費	1,005,000			1,005,000
光熱水料費	368,000			368,000
賃借料	3,531,000			3,531,000
租税公課	450,000			450,000
支払手数料	1,072,000			1,072,000
減価償却費	16,000			16,000
雑費	402,000			402,000

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>② 認定臨床医の認定及び更新に関すること</li> <li>③ 指導責任者の認定及び更新に関すること</li> <li>④ 資格更新に関する管理システム構築に関すること</li> <li>⑤ 新しい専門医制度に関すること</li> </ul> <p>(5) 施設認定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 研修施設の認定及び更新に関すること</li> <li>② 新しい専門医制度に関すること</li> </ul> <p>(6) 試験委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 専門医認定、臨床認定医認定のための筆記試験問題作成（画像問題・図表を含む）</li> <li>② 専門医認定のための口頭試験問題作成、同問題の採点基準の作成</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 専門医認定のための口頭試験問題の出題方法の検討</li> <li>④ 専門医認定、臨床認定医認定のための試験資格の審査</li> <li>⑤ 専門医認定、臨床認定医認定のための試験の実施</li> <li>⑥ 実施した試験問題の適切・不適切に関する検討</li> <li>⑦ 実施した試験問題や予備問題の保存・管理</li> <li>⑧ 出題内容、問題作成の手順等の検討</li> </ul> <p>(7) 診療ガイドライン委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイドラインコア委員会：活動計画を調整</li> <li>② 脳卒中治療ガイドライン策定委員会：「脳卒中</li> </ul> |
|---|---|

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
管理費		32,018,000		32,018,000
給料手当		11,545,000		11,545,000
福利厚生費		1,485,000		1,485,000
退職給付費用		330,000		330,000
代議員総会費		1,200,000		1,200,000
理事会費		6,300,000		6,300,000
旅費交通費		33,000		33,000
顧問料		2,772,000		2,772,000
ホームページ維持管理費		734,000		734,000
通信運搬費		495,000		495,000
情報関連整備費		274,000		274,000
什器備品費		99,000		99,000
消耗品費		115,000		115,000
印刷製本費		495,000		495,000
光熱水料費		182,000		182,000
賃借料		1,739,000		1,739,000
租税公課		50,000		50,000
負担金		3,436,000		3,436,000
支払手数料		528,000		528,000
減価償却費		8,000		8,000
雑費		198,000		198,000
<b>経常費用計</b>	<b>260,606,000</b>	<b>32,018,000</b>	<b>0</b>	<b>292,624,000</b>
当期経常増減額	△ 43,864,000	28,592,000	0	△ 15,272,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	23,092,000	△ 23,092,000		0
当期一般正味財産増減額	△ 20,772,000	5,500,000	0	△ 15,272,000
一般正味財産期首残高				162,410,414
一般正味財産期末残高				147,138,414
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				147,138,414

治療ガイドライン第3版」の作成に向け、活動を行う。

③脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委員会：「脳性麻痺リハビリテーションガイドライン第2版」の作成に向け、活動を行う。

④リハビリテーション連携パス策定委員会：「リハビリテーションと地域連携・地域包括ケア」の新書籍の出版に向け、活動を行う。

⑤障害者体力評価ガイドライン策定委員会：「障害者体力評価ガイドライン」の作成に向け、活動を行う。

⑥神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会：「神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン」の作成に向け、活動を行う。

⑦がんのリハビリテーションガイドライン策定委員会  
 ・「がんのリハビリテーションガイドライン」の作成に向け活動を行う。  
 ・「がんのリハビリテーションに関するグランドビジョン」の作成に向け、活動を行う。

(8) 社会保険等委員会

①医療保険に関する業務

②介護保険に関する業務

③リハビリテーション診療報酬体系を検討する業務

④その他の業務

(9) 障害保健福祉委員会

①障害者施策の動向と障害児・者を取りまく関連制度等の検討

②障害者スポーツへのリハビリテーション科医の関わりの検討

③地域リハビリテーションのあり方とリハビリテーション科医の役割についての検討

(10) 関連機器委員会

①リハビリテーション機器データベース化の準備

②福祉用具についての広報活動

③運動療法機器、作業療法機器についての広報活動

(11) 関連専門職委員会

①リハビリテーション関連職種養成大学（専門学校）と専門医とのマッチング

②各職種（職能団体）へのアンケート調査

③医療研修推進財団への協力

④高次脳機能障害関連問題

⑤各専門職種の関連専門職委員会への参加

(12) 会則検討委員会

- ①規則, 内規, 申し合わせ等の諸会則の整理と会則間の整合性を図る.
- ②医師以外の正会員候補者の入会審査を適正に行う.
- ③諸会則に関わる必要事項の検討を行う.

(13) 広報委員会

- ①広報ニュースの在り方を検討する.
- ②ホームページの改編・管理
- ③会員用 Web システムの有効活用, IT 化の推進
- ④リハビリテーション医増員に向けた啓発
- ⑤リハビリテーション医学の普及・発展へ向けた啓発

(14) 国際委員会

- ①平成 25 年度日本リハビリテーション医学会員海外研修助成プログラムの実施
- ②平成 25 年度外国人リハビリテーション医師対象の短期交流助成プログラムの実施
- ③Honorary/Corresponding Member の拡充, 活動内容見直し継続
- ④英文ホームページの充実
- ⑤英文 annual report の作成と H/C Member への送付
- ⑥50 周年記念事業企画 (アジアリハビリテーション医招聘企画など)

(15) データマネジメント委員会

- ①日本リハビリテーション・データベース協議会の構成団体としての事業の円滑な運用
- ②データベースを活用した研究計画・抄録・論文などの審査

(16) システム委員会

- ①現行のリハビリテーション医学会システムの保守, 改良
  - ・会員管理・掲示板・メールマガジン・アンケート等に生じた不具合対応
  - ・ログイン者数増加への啓発活動
  - ・危機管理のためのシステムバックアップ導入
  - ・汎用フォーム (アンケートシステム) 導入後の検証
- ②新たなシステムの立つインフラの検討
  - ・e-learning などが考えられる.
- ③研修ポイント, 会費等の電子決済の検討
  - ・理事会からの要請に従って活動を開始する.

(17) 特別委員会

- ①設立 50 周年記念事業実行委員会
- ②専門医制度対策委員会
- ③刊行物の在り方検討委員会

3. 会誌の発行

会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」を年 13 回 (第 50 回第 4 号～第 12 号, 特別号, 第 51 巻第 1 号～第 3 号), 1 回 9,500 部を発行する.

4. 広報誌の発行

広報誌「日本リハビリテーション医学会ニュース」(リハニュース) の 57 号まで冊子により発行し, 広報ニュースの在り方を検討する. また, リクルート向け特別号として改訂版を発行する.

5. ホームページの管理運営

- 1) 掲載内容の更新, 追加などを実施する. (適宜内容の見直しやトップページを含めた内容の整理を行う.)
- 2) 理事会, 各委員会, 専門医会と連絡を密にして, コンテンツを充実する.

6. 教育及び研修

1) 実習研修会

筋電図, 脊損尿路, 小児, 福祉/地域, 動作解析, 義手, 嚥下, 職業, 医療コミュニケーションの 9 研修会を開催する. また, 専門的臨床検査, 治療技術に関する新企画の検討を行う.

2) 学術集会研修会

第 50 回日本リハビリテーション医学会学術集会を, 平成 25 年 6 月 13 日, 14 日, 15 日の 3 日間, 東京国際フォーラムに於いて開催する.

3) 専門医会学術集会研修会

平成 25 年 11 月 9 日, 10 日の 2 日間, 札幌市教育文化会館に於いて開催する.

4) 病態別実践リハビリテーション医学研修会

「骨関節障害」「神経系障害」「内部障害」の 3 研修会を開催する.

5) 一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会

平成 25 年 4 月 14 日, 昭和大学キャンパスに於いて開催する.

6) 医学生リハビリテーションセミナー

医学生のためのリハビリテーションセミナーを開催する.

7. 専門医の認定

専門医（リハビリテーション科専門医）の認定審査を行う。

#### 8. 認定臨床医の認定

認定臨床医の認定審査を行う。

#### 9. 指導責任者の認定

申請に基づき指導責任者の認定審査を行う。

#### 10. 指導責任者の資格更新

指導責任者の資格更新審査を行う。

#### 11. 研修施設の認定

申請に基づき研修施設の認定審査を行う。

#### 12. 研修施設の資格更新

研修施設の資格更新審査を行う。

#### 13. 専門医の資格更新

専門医の資格更新審査を行う。

#### 14. 認定臨床医の資格更新

認定臨床医の資格更新審査を行う。

#### 15. リハ医学啓発活動事業

各地方会で市民公開講座等を開催し、広くリハビリテーション医学の啓発活動を行う。

#### 16. 学術研究助成

- 1) 優秀論文への助成
- 2) 若手研究者への海外研修助成
- 3) 外国人リハビリテーション医への交流研修助成
- 4) 専門医会研究補助金

#### 17. 国際リハビリテーション関連

- 1) ISPRM, AOSPRM 等の活動に参加する。
- 2) アジア地域での交流活動を行う。

#### 18. その他

リハビリテーション関連団体の主催する各種事業の後援、協賛等を行う。

### Ⅲ. 定款施行細則案について

椿原副理事長から、定款施行細則案について、配布資料に基づき説明があり、原案どおり承認された。

### Ⅳ. 第 53 回（平成 28 年開催）学術集会会長の指名について

水間理事長から、第 53 回学術集会会長候補者について、理事会で協議した結果、久保俊一先生（京都府立医科大学大学院運動器機能再生外科学）が推薦され

た旨の報告があり、原案どおり承認された。

### Ⅴ. 会費を 2 年以上滞納した者の扱いについて

庶務担当の才藤副理事長から、会費を 2 年以上滞納した者について、定款 11 条第 2 項により、会員の資格が喪失する旨の説明あり、承認された。なお、確認したい会員は事務局受付に該当者の名簿を設置しているので、申し出ることとした。

### Ⅵ. 功労会員について

水間理事長から、理事会で、定款第 5 条第 2 項第 3 号に基づき、武智秀夫会員以下 7 名の会員を功労会員に推薦することに決定した旨の報告があり、原案どおり承認された。

### Ⅶ. Corresponding Member について

水間理事長から、理事会で、定款第 5 条第 2 項第 5 号に基づき、Tai Ryoan Han, M.D., Ph.D. 先生を特別会員（Corresponding Member）に推薦することに決定した旨の報告があり、原案どおり承認された。

### Ⅷ. その他

①代議員選挙に関する規則の一部改正(案)及び平成 25 年度代議員選挙日程(案)について

椿原副理事長から、代議員選挙に関する規則の一部改正(案)及び平成 25 年度代議員選挙日程(案)について報告があり、原案どおり承認された。

②指導医制度に関する規則(案)、指導医の認定に関する内規(案)及び専門医生涯教育及び資格更新に関する内規の一部改正(案)について

浅見理事から、指導医制度に関する規則(案)、指導医の認定に関する内規(案)及び専門医生涯教育及び資格更新に関する内規の一部改正(案)について報告があり、原案どおり承認された。

③学術集会の準備状況報告について

第 50 回学術集会水間正澄会長及び第 51 回学術集会才藤栄一会長並びに第 52 回学術集会里宇明元会長から、それぞれ準備状況について報告があった。

以上